

令和7年度第1回 インターネット都政モニターアンケート

「お墓と都立霊園」

調 査 結 果



調 査 実 施 の 概 要

1 アンケートテーマ

お墓と都立霊園

2 アンケート目的

墓じまいのニーズの高まり等、社会情勢の変化に伴い、墓所のあり方が変わってきている。都立霊園においても、近年の墓所に関する動向や都民のニーズをとらえ、継続的な墓所の供給をしていく必要がある。このような背景から、今後の墓所のあり方を検討する基礎資料とする。

3 アンケート期間

令和7年7月10日（木曜日）から7月17日（木曜日）まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページに回答を入力する。

5 インターネット都政モニター数

500人

6 回答者数

496人

7 回答率

99.2%

お墓と都立霊園

1 調査項目

- Q1 墓地・霊園のイメージ
- Q2 使用したい霊園のイメージ
- Q3 お墓所有の有無
- Q4 墓じまいについて
- Q5 墓じまいの課題
- Q6 使用したい墓所の形式
- Q7 集合墓地を選択した理由
- Q8 お墓についての心配ごと
- Q9 お墓に対して重視する点
- Q10 都立霊園に求める役割
- Q11 永代使用权への意識
- Q12 使用期間を限定したお墓について
- Q13 使用期間を限定したお墓を選ぶ条件
- Q14 お墓の使用期間
- Q15 粉骨にて埋蔵・収蔵すること
- Q16 散骨について
- Q17 都立霊園における散骨できる墓地の整備
- Q18 墓誌の電子化
- Q19 電子墓誌に求めるもの
- Q20 お墓と都立霊園に関する意見（自由意見）

2 アンケート回答者属性

		モニター 人 数	回 答		
			人 数	構成比	率
全 体		500	496	-	99.2
性 別	男性	250	249	50.2	99.6
	女性	250	247	49.8	98.8
年 代 別	18・19歳	10	10	2.0	100.0
	20代	71	70	14.1	98.6
	30代	75	75	15.1	100.0
	40代	88	88	17.7	100.0
	50代	89	89	17.9	100.0
	60代	61	60	12.1	98.4
	70歳以上	106	104	21.0	98.1
職 業 別	自営業	32	32	6.5	100.0
	常勤	241	240	48.4	99.6
	パート・アルバイト	59	58	11.7	98.3
	主婦・主夫	71	70	14.1	98.6
	学生	25	25	5.0	100.0
	無職	72	71	14.3	98.6
居住地域別	東京都区部	344	341	68.8	99.1
	東京都市町村部	156	155	31.3	99.4

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n（number of cases）は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・（MA）＝いくつでも選択、（3MA）＝3つまで選択、（2MA）＝2つまで選択

都立霊園は、現在、8か所（青山、雑司ヶ谷、谷中、染井、多磨、八柱、小平、八王子）あり、総面積約416万㎡、使用者は約31万人で、約145万体が埋蔵されています。

東京都は、都民の墓所需要に応えるため、都立霊園における合葬埋蔵施設、樹林型墓地など、新たな形式の墓地整備等の取組を進めてきています。

近年、墓じまいニーズの高まり等、社会情勢の変化に伴い、墓所のあり方への要望が多様化し、霊園行政を取り巻く環境は変化してきています。都は、墓所に関する動向や都民のニーズをとらえ、継続的な墓所の供給をしていく必要があります。都立霊園の今後の施策に反映させるため、都政モニターの皆様にご意見を伺います。

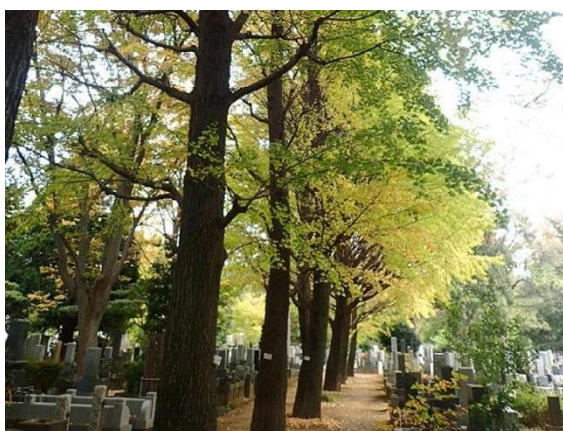
【都立霊園について】

「TOKYO 霊園さんぽ」（公益財団法人東京都公園協会）

<http://www.tokyo-park.or.jp/reien/>



青山霊園

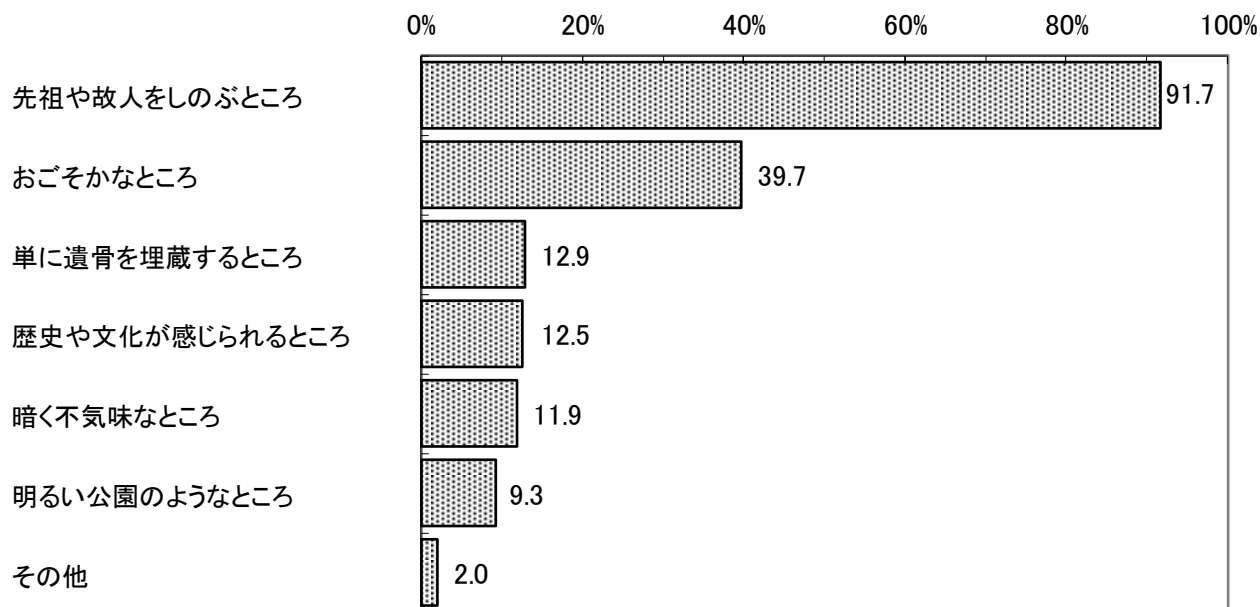


雑司ヶ谷霊園

墓地・霊園のイメージ

Q1 あなたは、墓地・霊園についてどのようなイメージをお持ちですか。次の中から2つまで選んでください。（都立霊園に限りません）

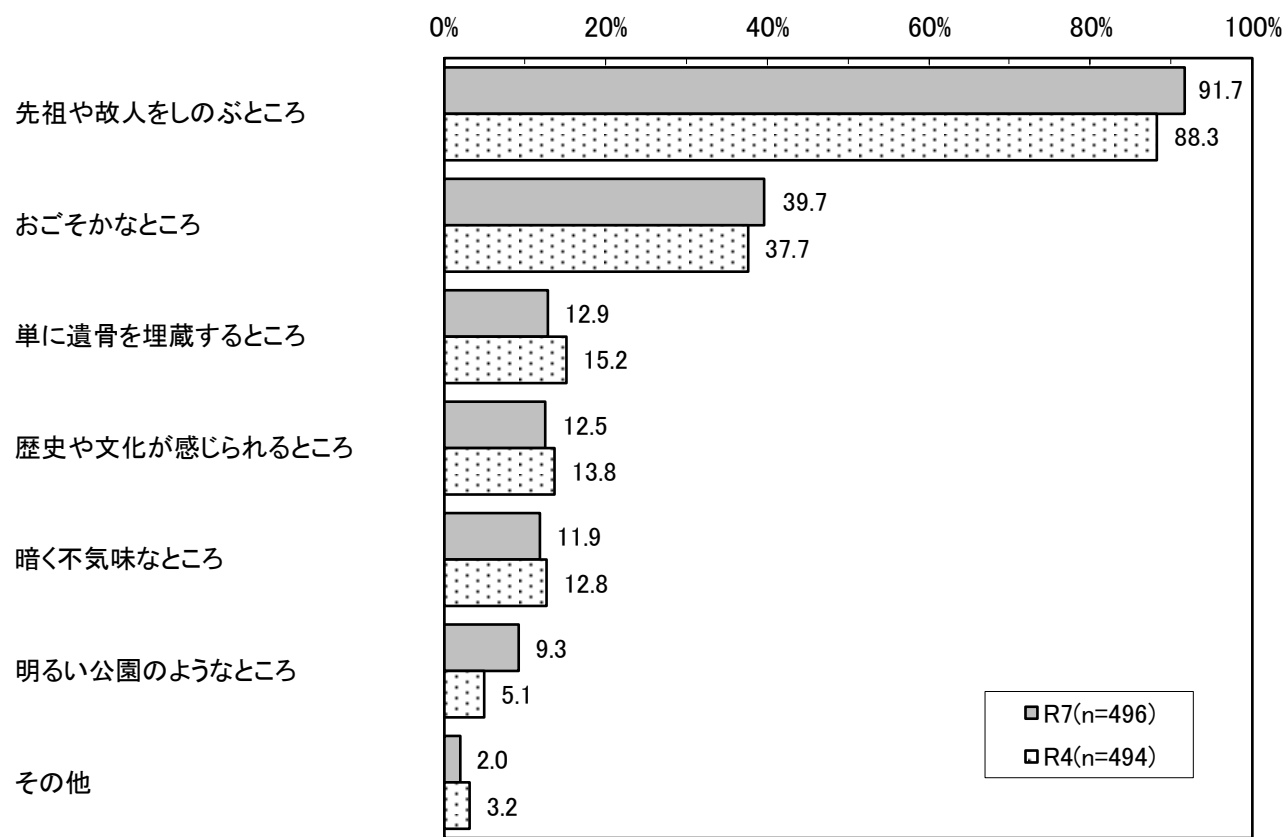
2MA (n=496)



【調査結果の概要】

墓地・霊園のイメージについて聞いたところ、「先祖や故人をしのぶところ」（91.7%）が9割を超えて最も高く、以下、「おごそかなところ」（39.7%）、「単に遺骨を埋蔵するところ」（12.9%）などと続いている。

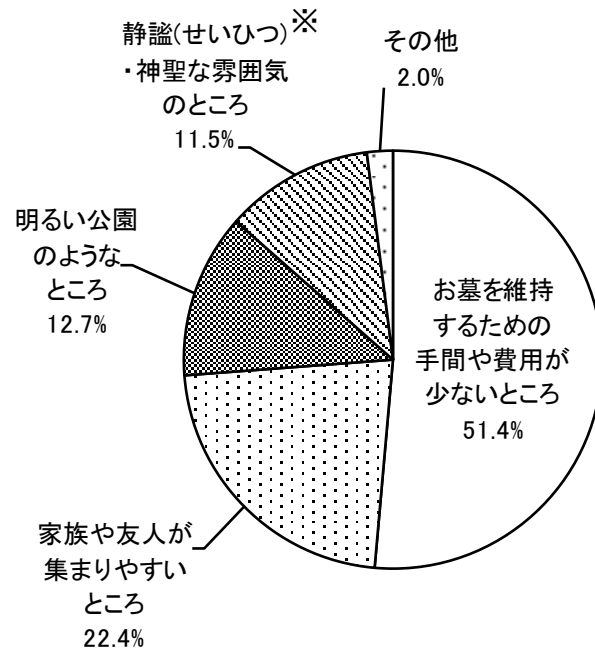
◎前回調査との比較 <前回：令和4年6月実施「都立公園及び霊園について」>



使用したい霊園のイメージ

Q2 これから霊園にお墓を建てるとすると、どのような霊園がよいですか。（都立霊園に限られません。）

(n=496)

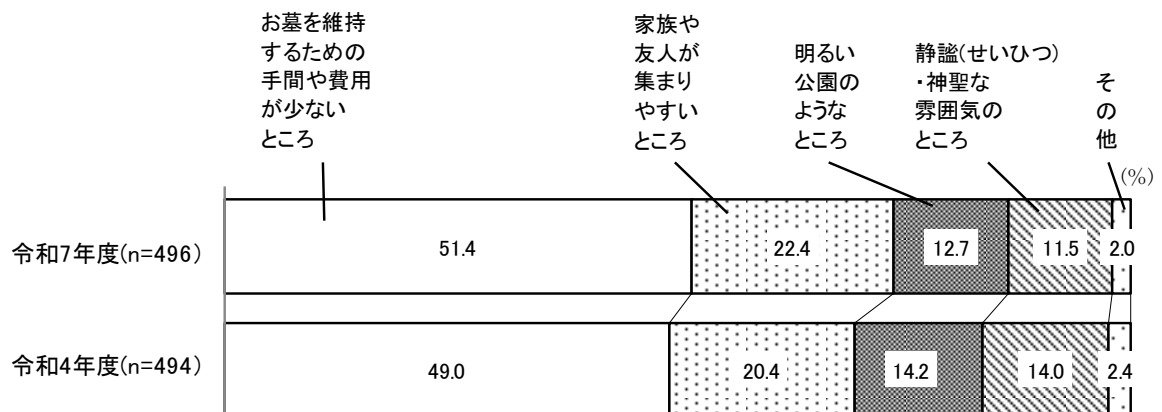


※ 静謐：静かで落ち着いていること

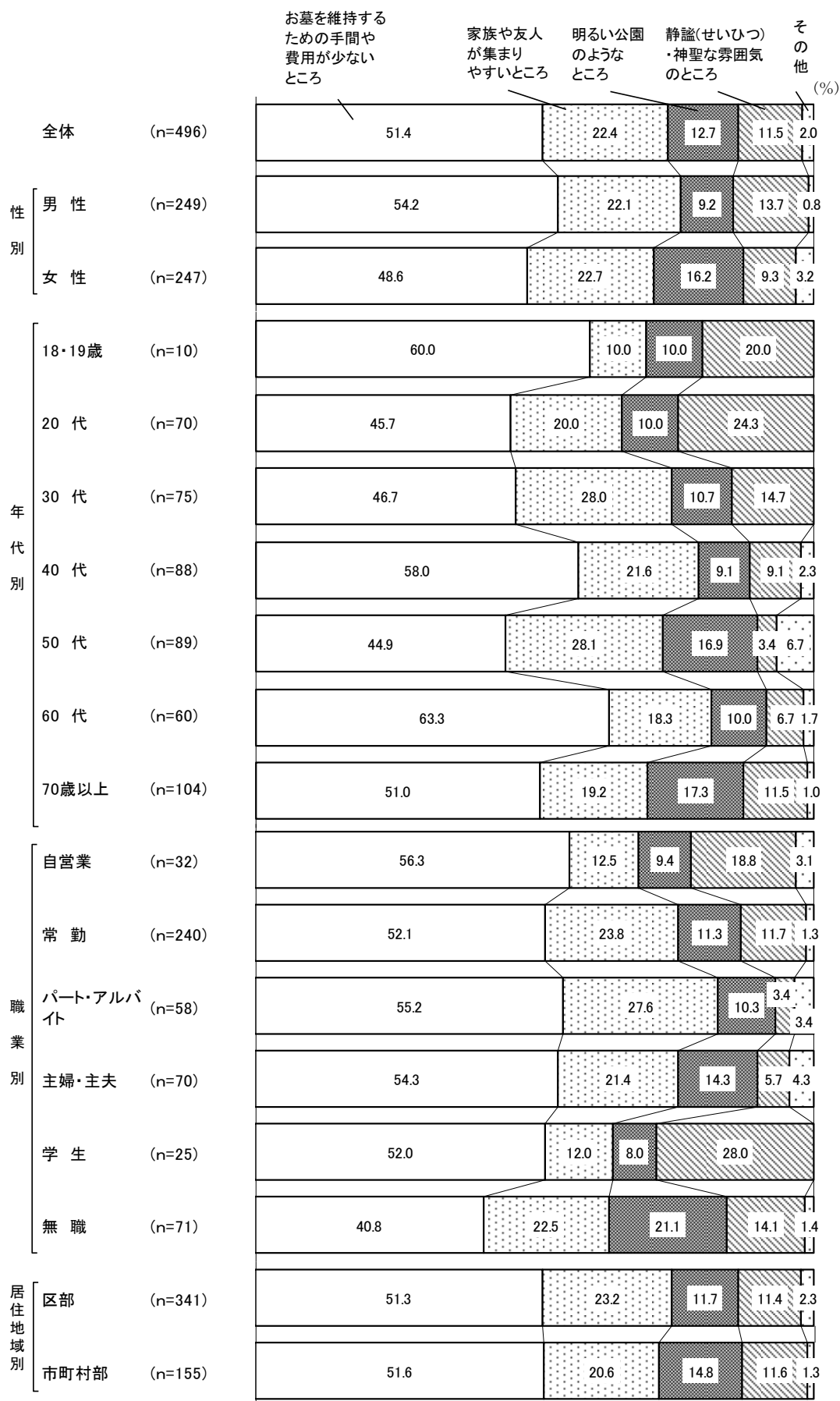
【調査結果の概要】

使用したい霊園のイメージを聞いたところ、「お墓を維持するための手間や費用が少ないところ」（51.4%）が5割を超えて最も高く、以下、「家族や友人が集まりやすいところ」（22.4%）、「明るい公園のようなところ」（12.7%）などと続いている。

◎前回調査との比較 < 前回：令和4年6月実施「都立公園及び霊園について」 >



◎使用したい霊園のイメージ（属性別）

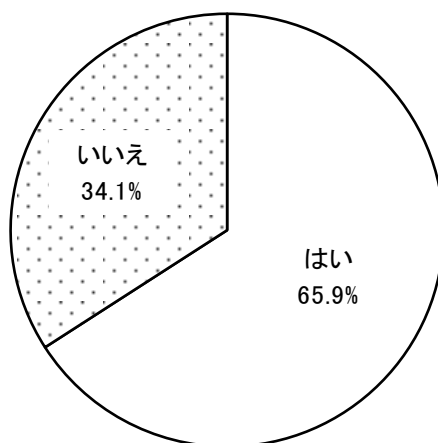


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

お墓所有の有無

Q3 あなたは現在、自分や家族が利用できるお墓がありますか。

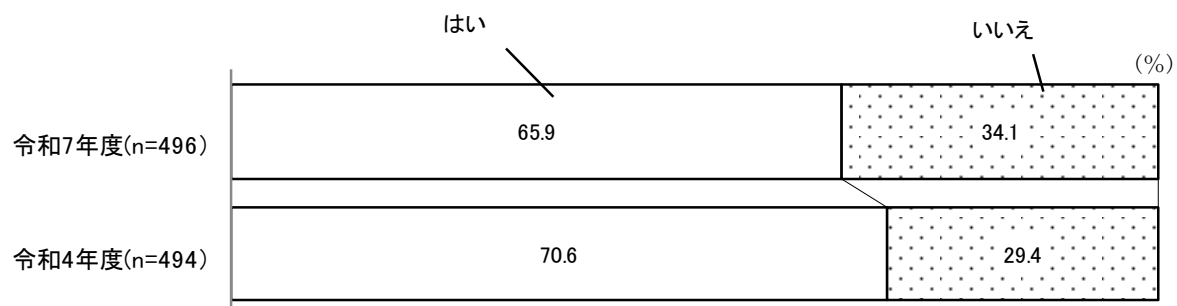
(n=496)



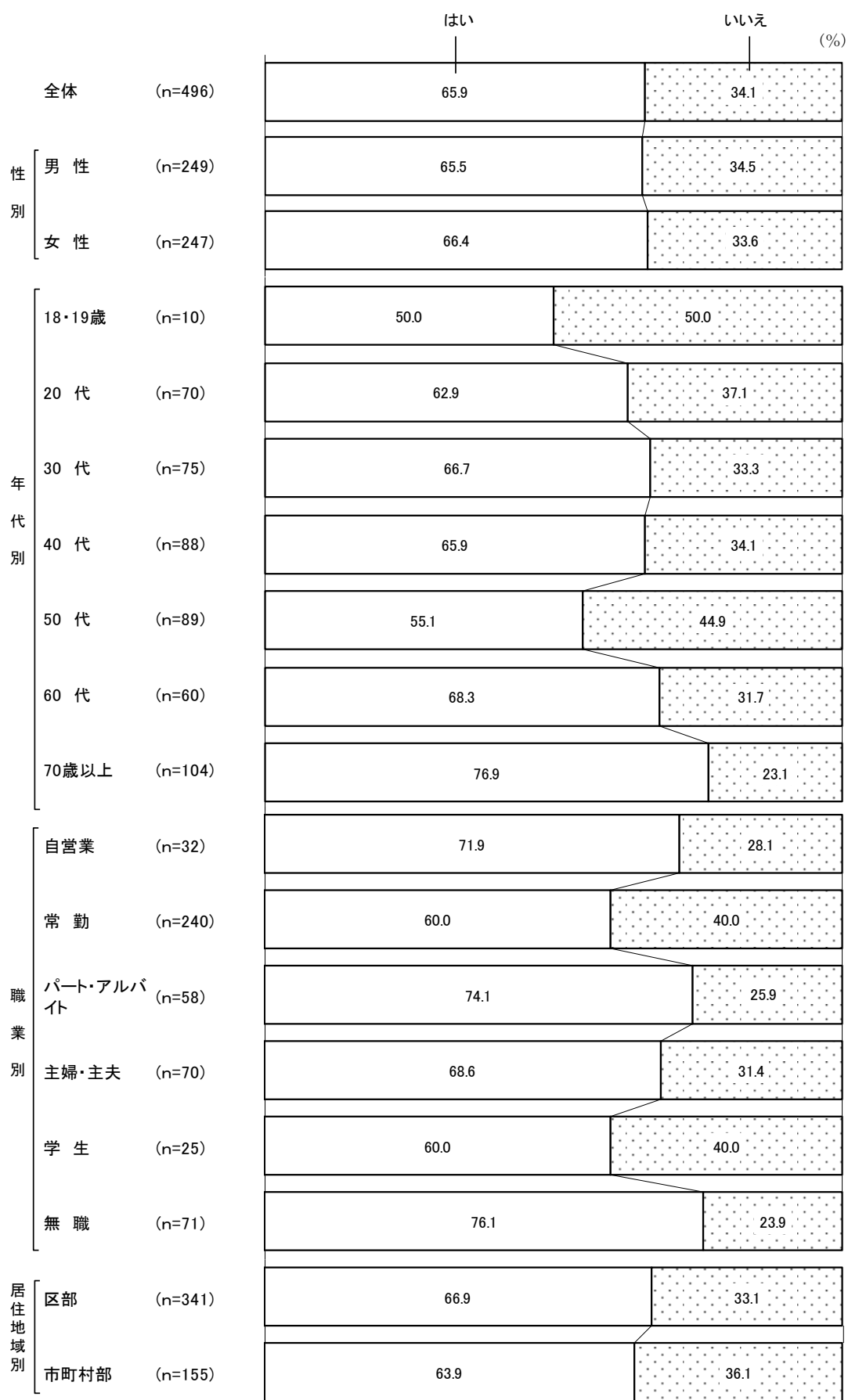
【調査結果の概要】

現在、自分や家族が利用できるお墓があるか聞いたところ、「はい」(65.9%)が6割半ばで、「いいえ」(34.1%)は3割半ばであった。

◎前回調査との比較 <前回：令和4年6月実施「都立公園及び霊園について」>



◎お墓所有の有無（属性別）



墓じまいについて

本アンケートでは、個別の墓所に埋葬されていたご遺骨を合葬式墓地等※1に改葬※2した上で、墓石を撤去し、墓所を更地にして現在使用している墓所を返還することを、いわゆる「墓じまい」とします。

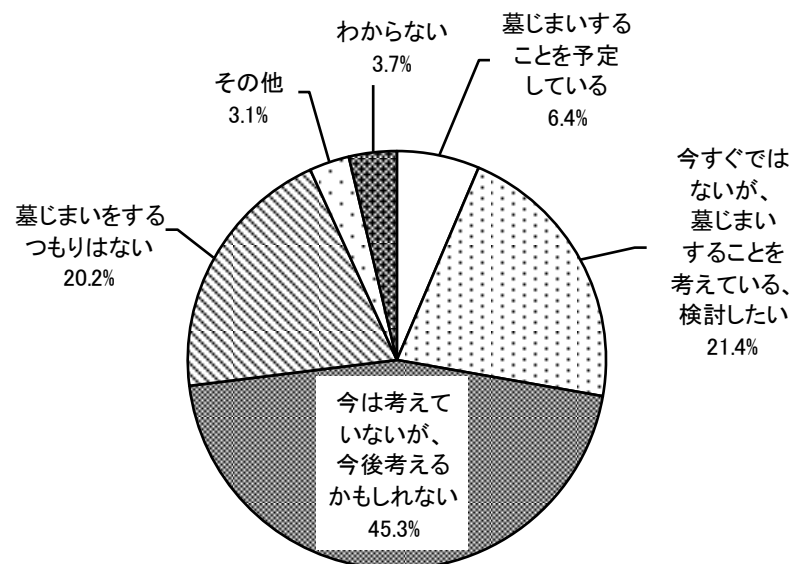
※1 合葬式墓地：一つのお墓に多くの方々の遺骨を共同埋蔵する施設

※2 改葬：埋葬した死体を他の墳墓に移し、又は埋蔵し、若しくは収蔵した焼骨を、他の墳墓又は納骨堂に移すこと

Q4 Q3で「はい」を選択した方へ伺います。

近年、墓じまいが行われるようになってきました。このことについて、あなたはどのように考えますか。

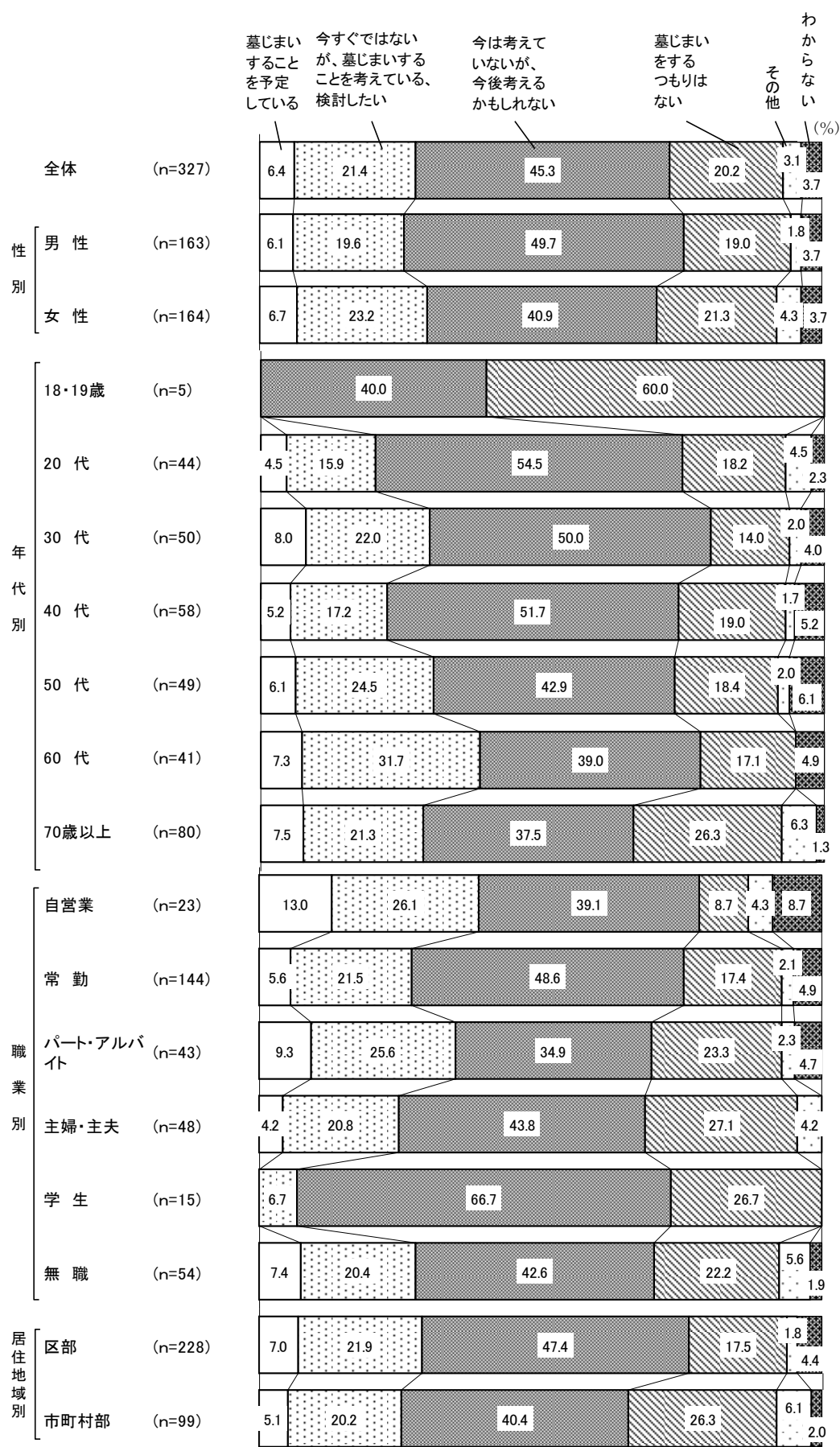
(n=327)



【調査結果の概要】

Q3で、「自分や家族が利用できるお墓がある（はい）」と選んだ方327人に墓じまいについて聞いたところ、「今は考えていないが、今後考えるかもしれない」（45.3%）が4割半ばで最も高く、以下、「今すぐではないが、墓じまいすることを考えている、検討したい」（21.4%）、「墓じまいをするつもりはない」（20.2%）などと続いている。

◎墓じまいについて（属性別）

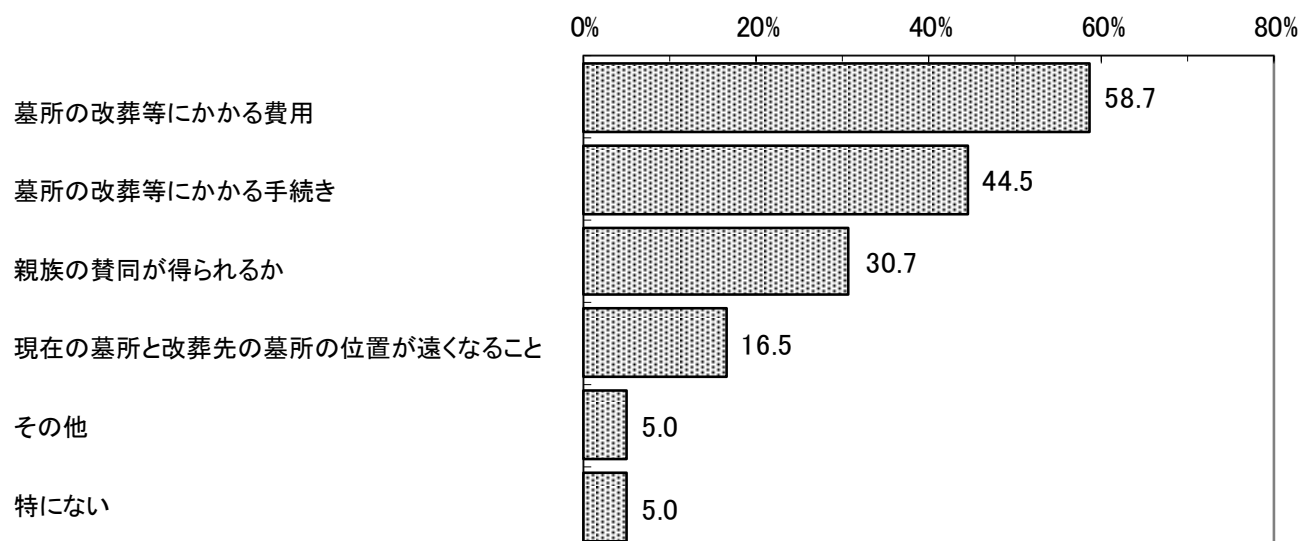


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

墓じまいの課題

Q5 Q4で、「今すぐではないが、墓じまいすることを考えている、検討したい」、「今は考えていないが、今後考えるかもしれない」を選択した方へ伺います。墓じまいをする上で、どんなことが課題だと考えますか。次の中から2つまで選んでください。

2MA (n=218)



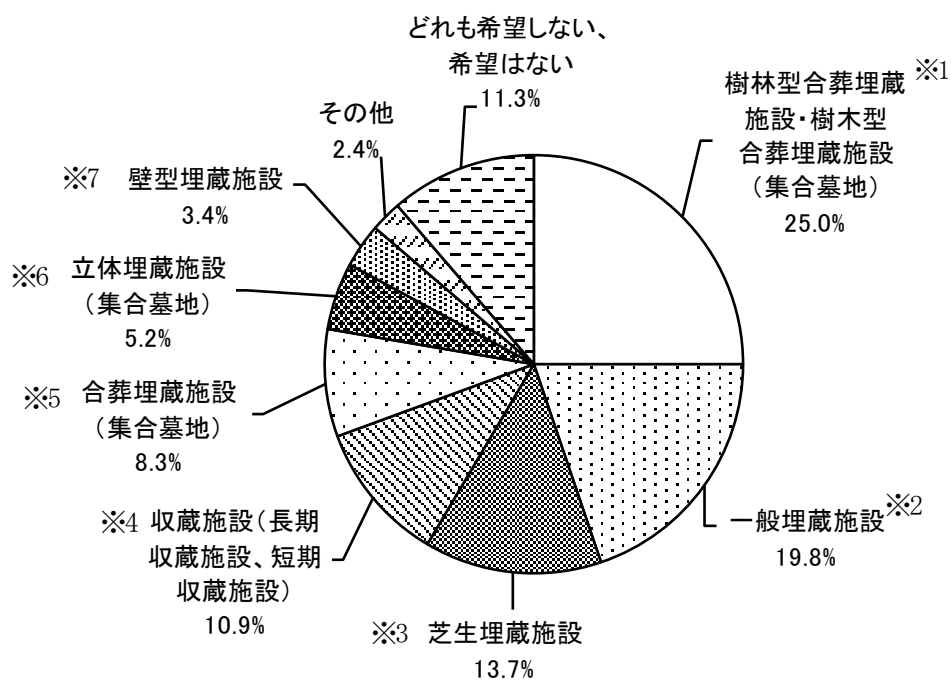
【調査結果の概要】

Q4で、「今すぐではないが、墓じまいすることを考えている、検討したい」、「今は考えていないが、今後考えるかもしれない」を選択した方218人に、墓じまいの課題について聞いたところ、「墓所の改葬等にかかる費用」(58.7%)が6割近くで最も高く、以下、「墓所の改葬等にかかる手続き」(44.5%)、「親族の賛同が得られるか」(30.7%)などと続いている。

使用したい墓所の形式

Q6 今後、都立霊園のお墓を利用することになった場合、どの形式の墓所を希望されますか。

(n=496)



※1 樹林型合葬埋蔵施設 (集合墓地)

: 樹林の下に、遺骨(粉状遺骨を含む)を直接土に触れる形で共同埋蔵する施設



樹木型合葬埋蔵施設 (集合墓地)

: 樹木の周辺に、遺骨を「個別に」一体ずつ直接土に触れる形で埋蔵する施設



※2 一般埋蔵施設

: 一般的な平面形式の埋蔵施設



※3 芝生理蔵施設

：一面芝生の平坦地に、
等間隔に配置された埋蔵施設



※4 収蔵施設（長期収蔵施設、短期収蔵施設）

：ロッカー式の納骨堂



※5 合葬埋蔵施設（集合墓地）：一つのお墓に多くの遺骨を共同埋蔵する施設



※6 立体埋蔵施設（集合墓地）：一般埋蔵施設と合葬埋蔵施設のメリットを持つ施設



※7 壁型埋蔵施設

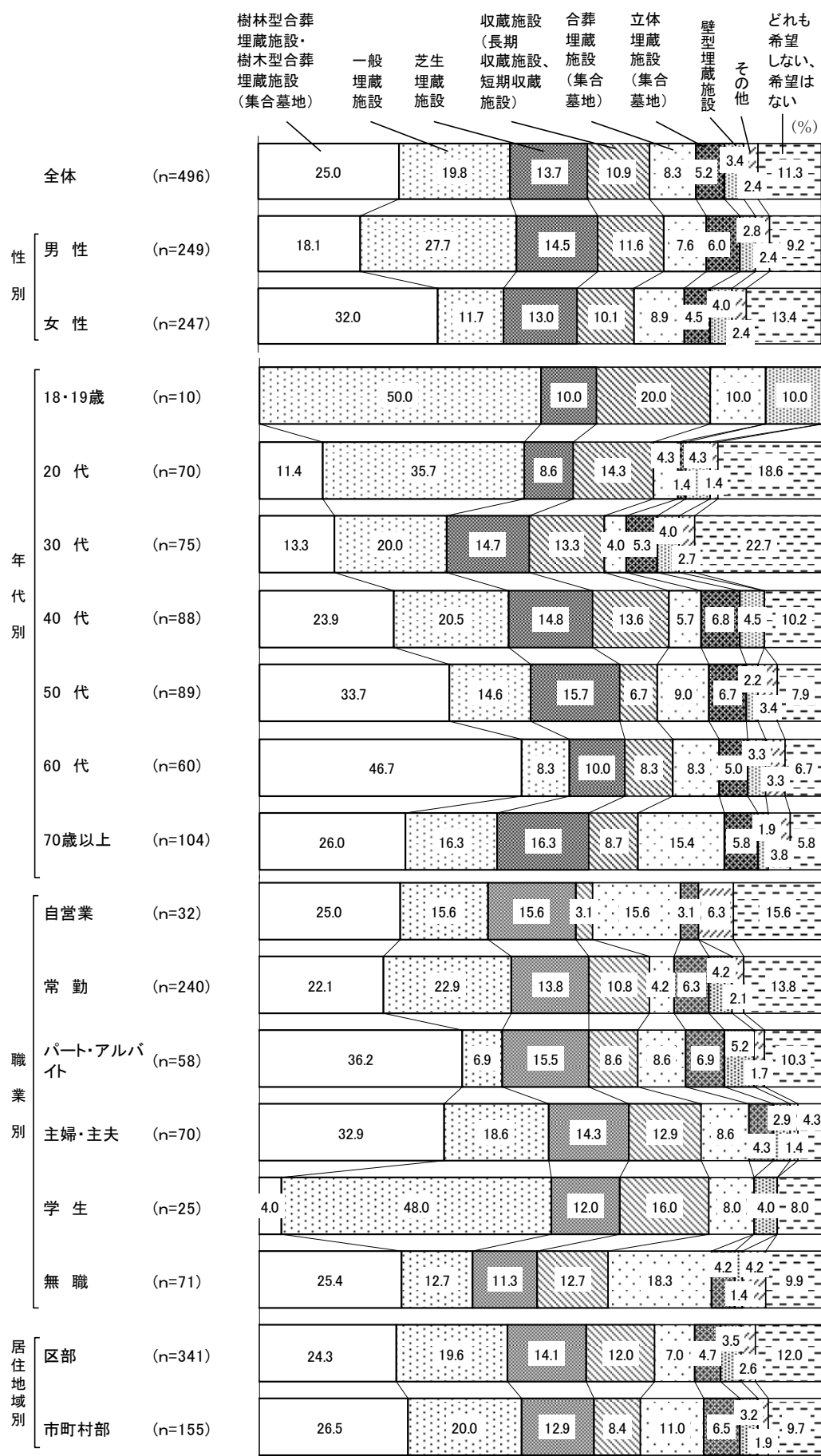
：自然石の墓碑を壁状に配置したお墓



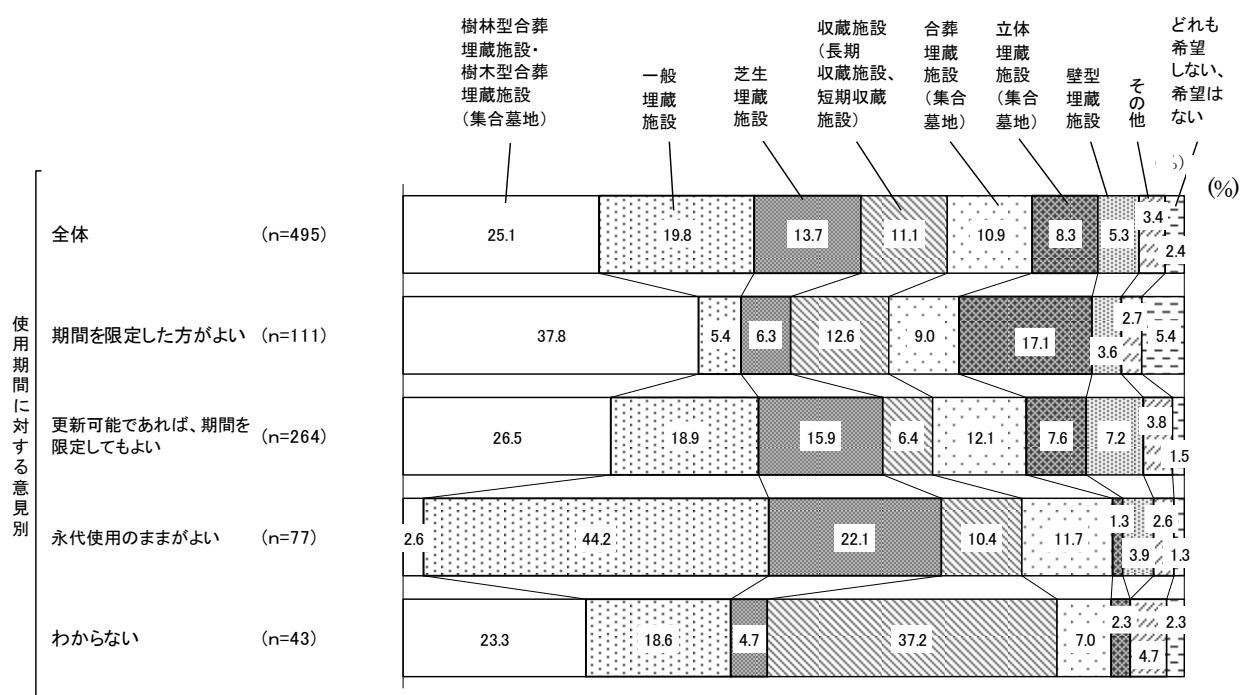
【調査結果の概要】

今後、都立霊園のお墓を利用することになった場合、どの形式の墓所を希望するかを聞いたところ、「樹林型合葬埋蔵施設・樹木型合葬埋蔵施設（集合墓地）」（25.0%）が2割半ばで最も高く、以下、一般埋蔵施設（19.8%）、芝生理蔵施設（13.7%）などと続いている。

◎使用したい墓所の形式（属性別）



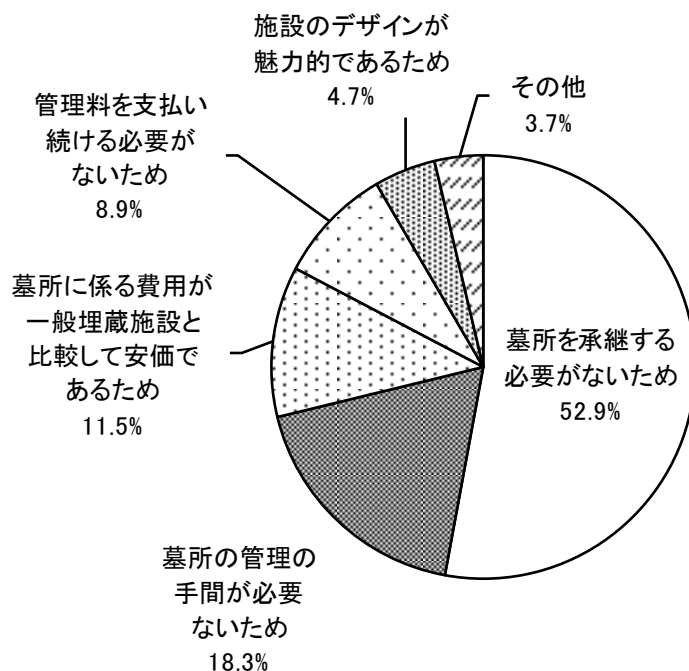
◎使用したい墓所の形式（使用期間に対する意見別）



集合墓地を選択した理由

Q7 Q6で、集合墓地である「合葬埋蔵施設」、「立体埋蔵施設」、「樹林型合葬埋蔵施設・樹木型合葬埋蔵施設」を選択した方へ伺います。選択した理由は何ですか。

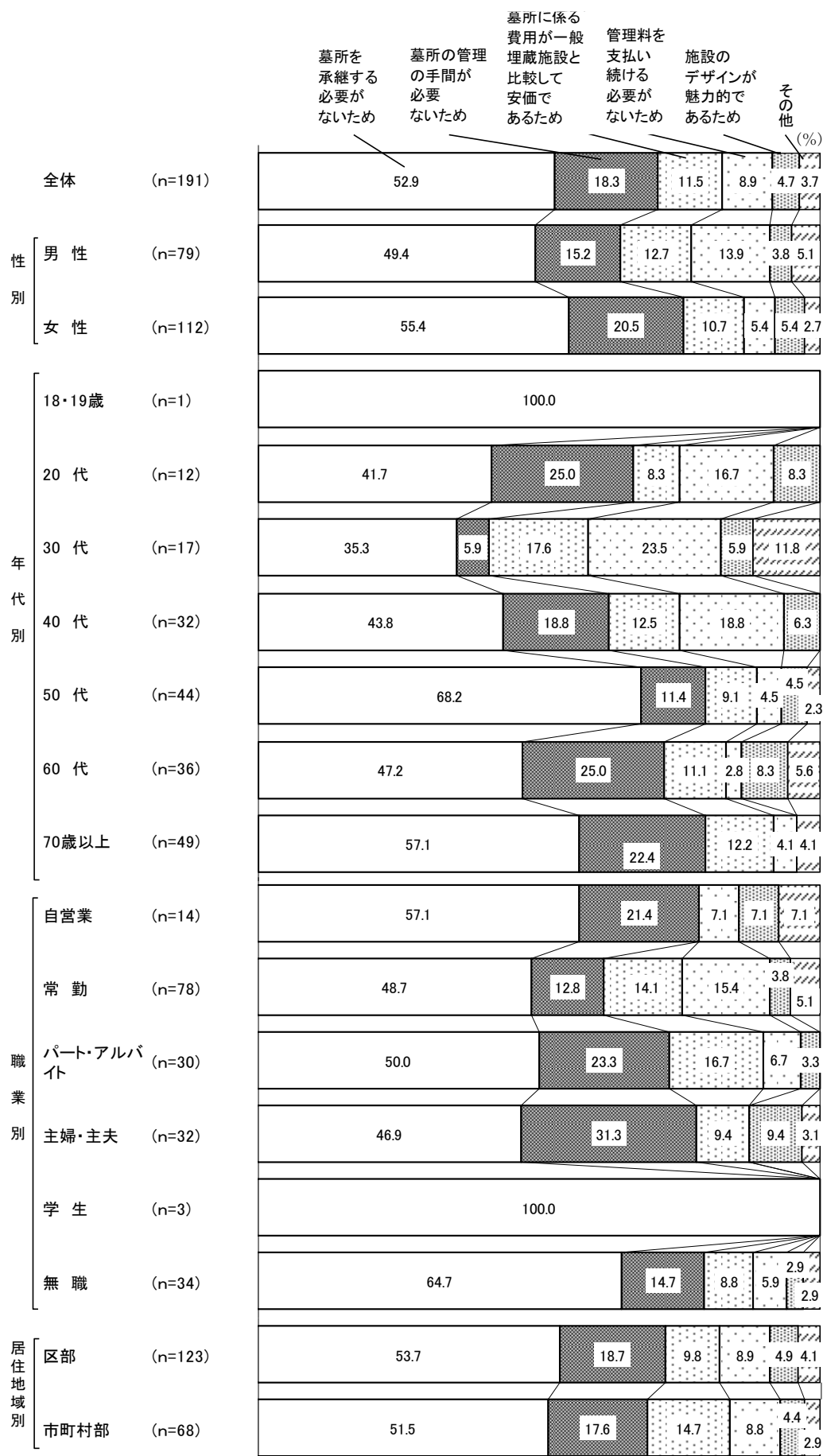
(n=191)



【調査結果の概要】

Q6で、集合墓地である「合葬埋蔵施設」、「立体埋蔵施設」、「樹林型合葬埋蔵施設・樹木型合葬埋蔵施設」を選択した方191人に集合墓地を選択した理由を聞いたところ、「墓所を承継する必要があるため」が(52.9%)が、5割を超えて最も高く、以下、「墓所の管理の手間がないため」(18.3%)、「墓所に係る費用が一般埋蔵施設と比較して安価であるため」(11.5%)などと続いている。

◎集合墓地を選択した理由（属性別）

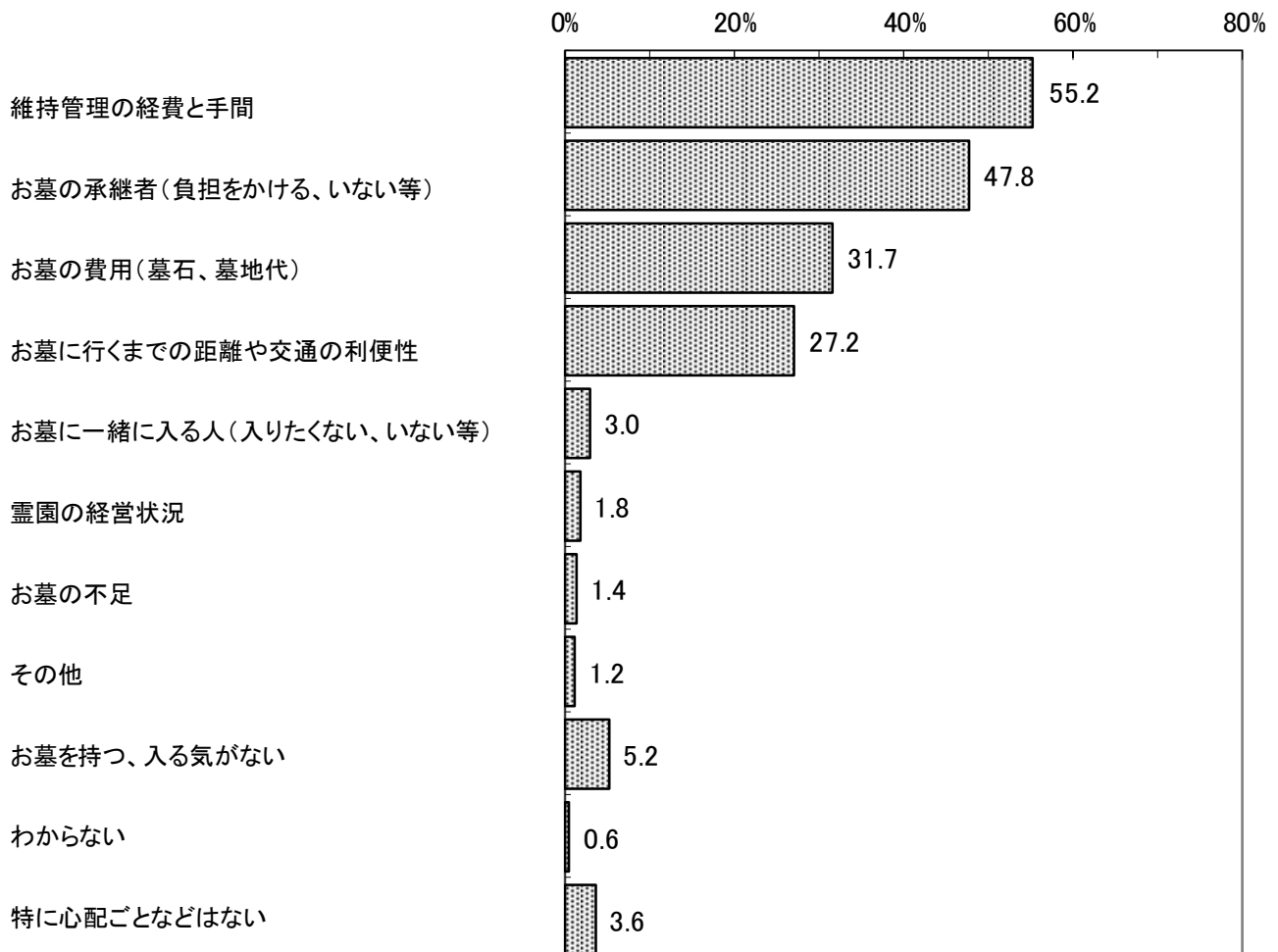


※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

お墓についての心配ごと

Q8 あなたにとって、お墓についての心配ごとや問題点は何ですか。次の中から2つまで選んでください。（都立霊園に限りません。）

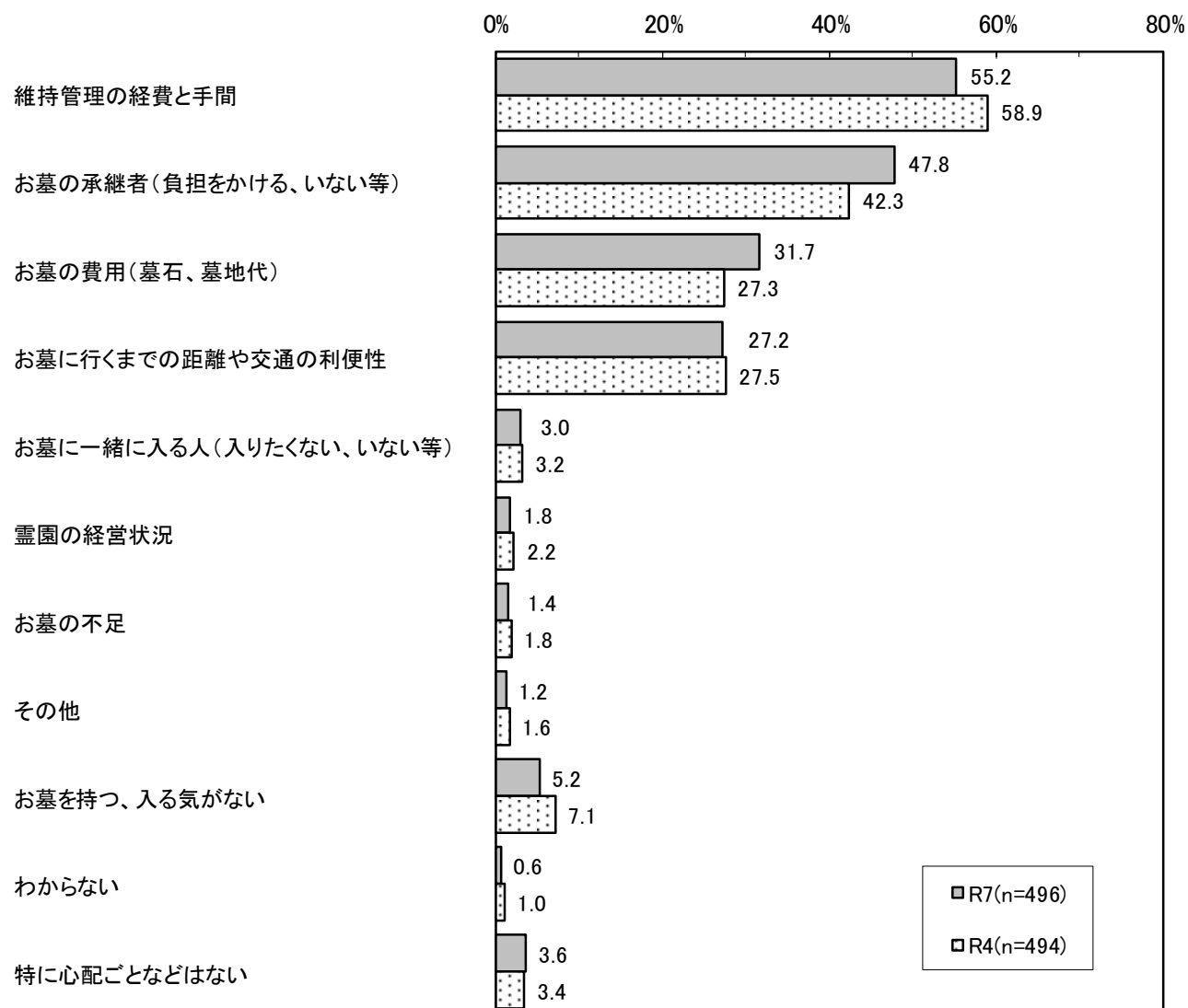
2MA (n=496)



【調査結果の概要】

お墓についての心配ごとや問題点を聞いたところ、「維持管理の経費と手間」（55.2%）が5割半ばで最も高く、以下、「お墓の承継者（負担をかける、いない等）」（47.8%）、「お墓の費用（墓石、墓地代）」（31.7%）、「お墓に行くまでの距離や交通の利便性」（27.2%）などと続いている。

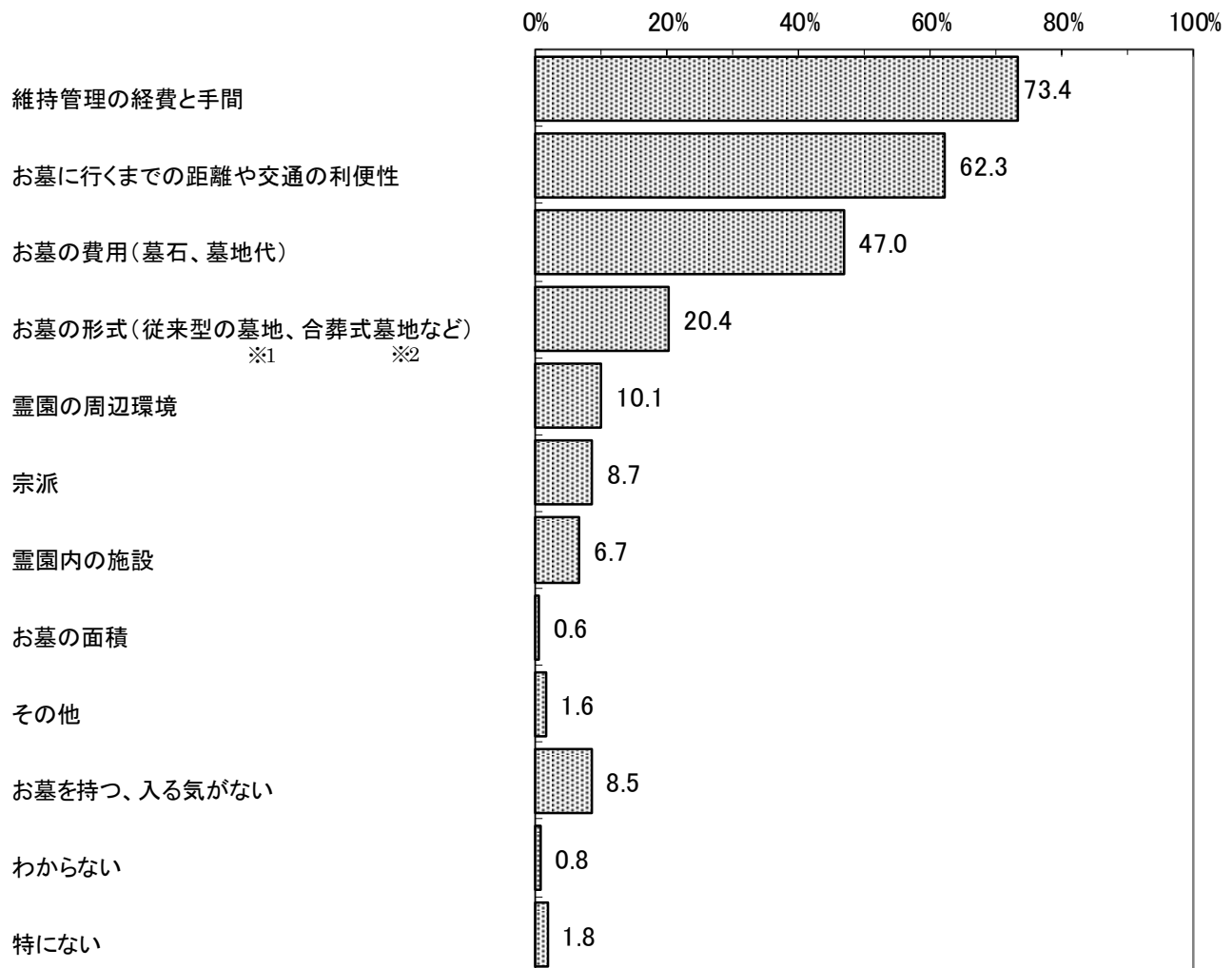
◎前回調査との比較 <前回：令和4年6月実施「都立公園及び霊園について」>



お墓に対して重視する点

Q 9 あなたが、お墓に対して重視している点は何ですか。次の中から3つまで選んでください。
(都立霊園に限りません。)

3MA (n=496)



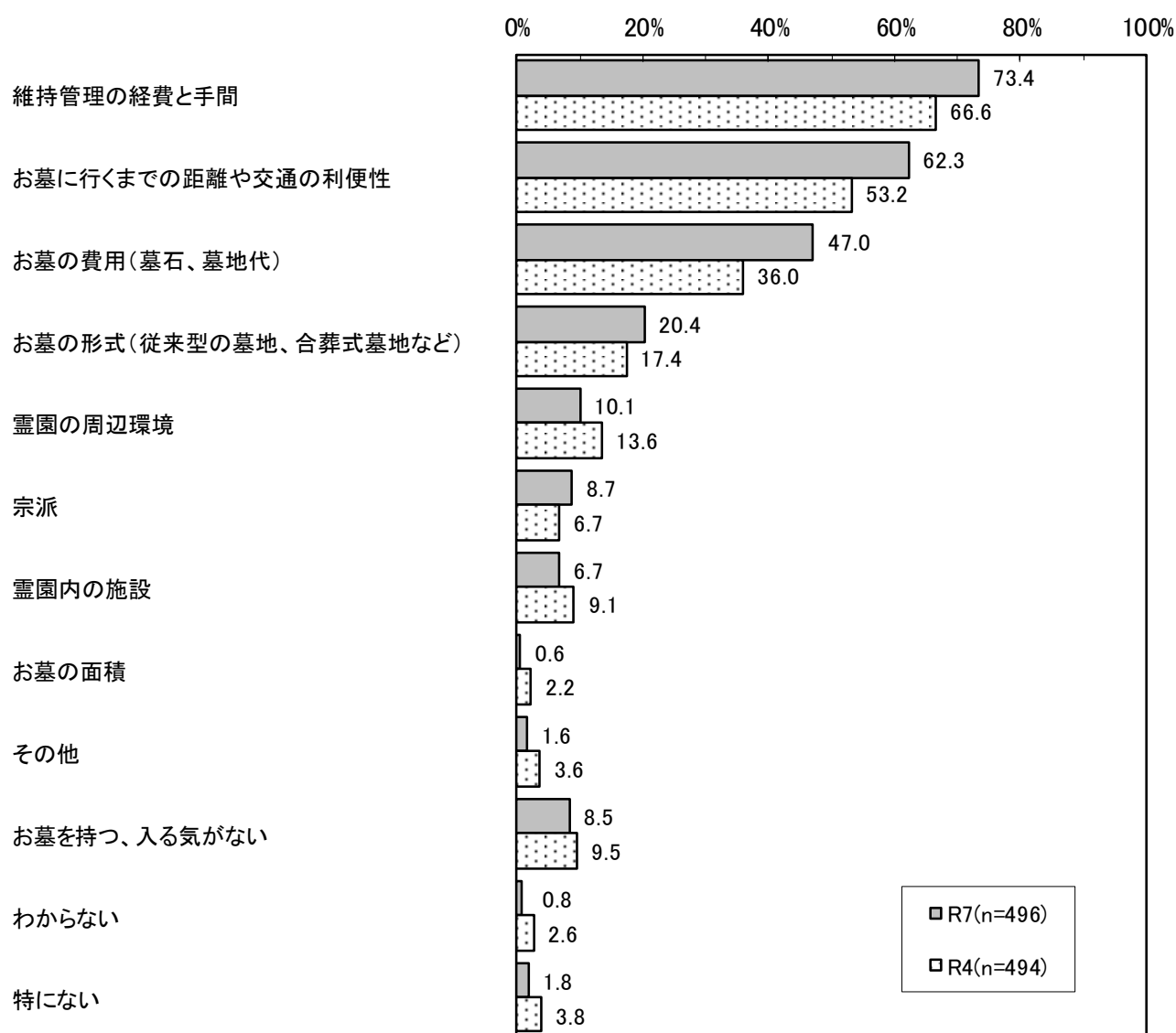
※1：従来型の墓地：個別に墓石を建てる一般的な墓地

※2：合葬式墓地：一つのお墓に共同で埋蔵する墓地

【調査結果の概要】

お墓に対して重視している点を聞いたところ、「維持管理の経費と手間」(73.4%)が7割を超えて最も高く、以下、「お墓に行くまでの距離や交通の利便性」(62.3%)、「お墓の費用(墓石、墓地代)」(47.0%)などと続いている。

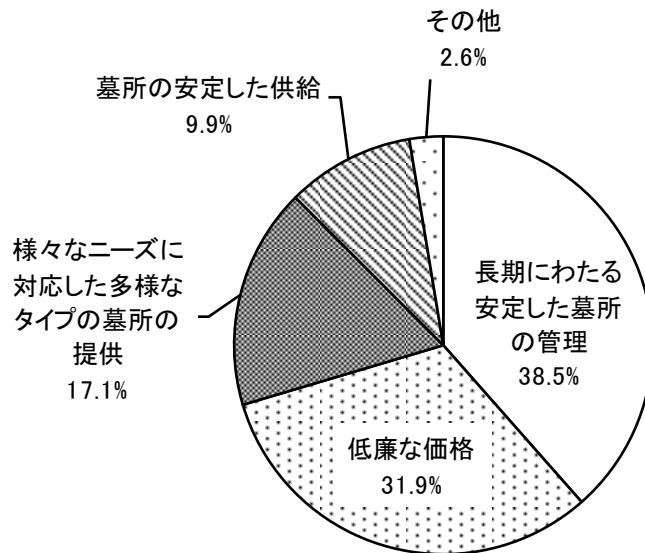
◎前回調査との比較 <前回：令和4年6月実施「都立公園及び霊園について」>



都立霊園に求める役割

Q10 あなたは、都立霊園にどのようなことを期待しますか。

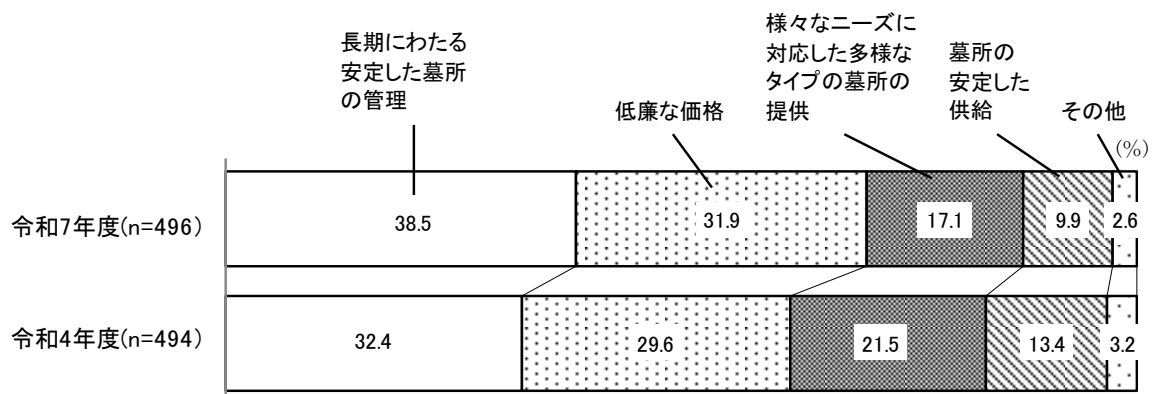
(n=496)



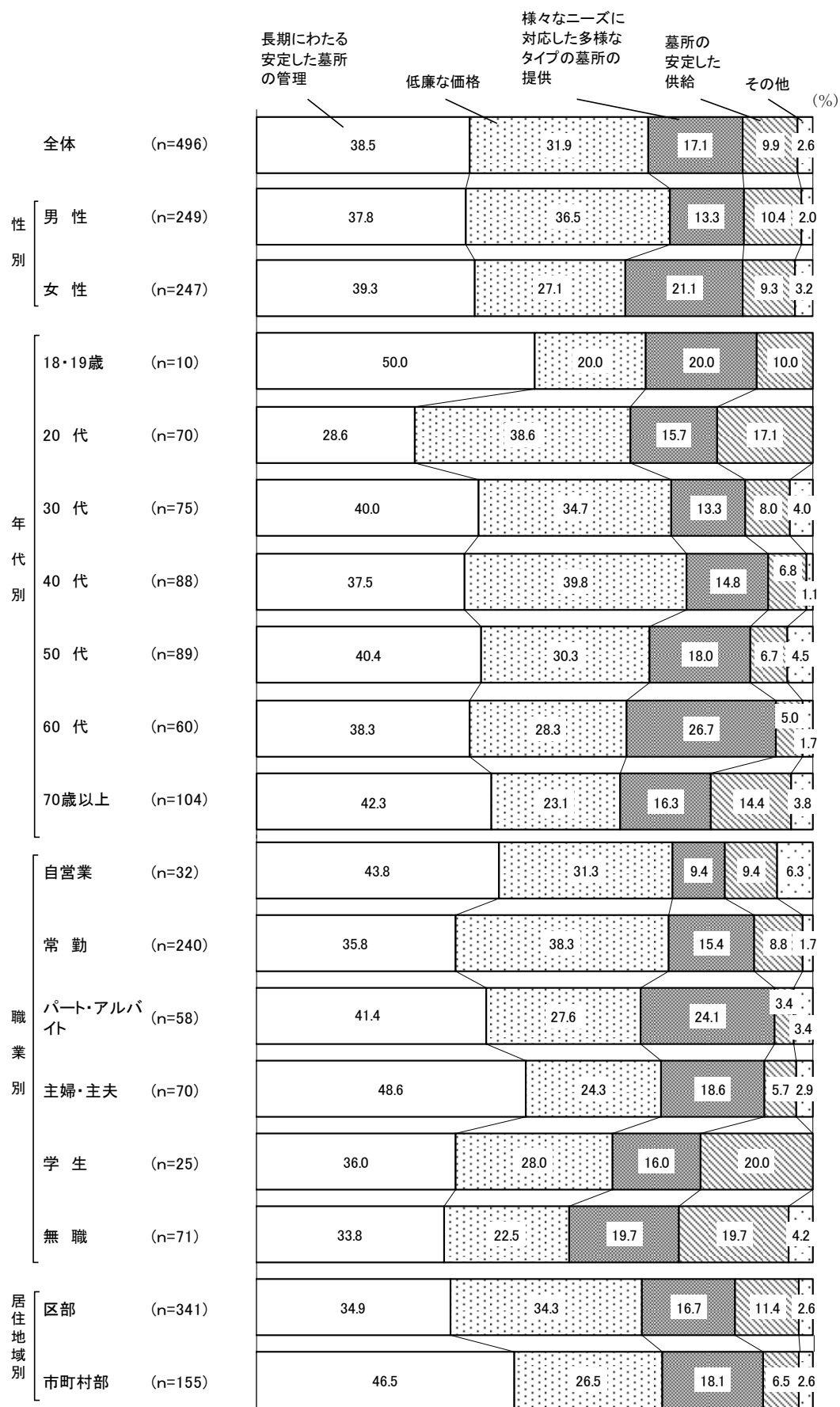
【調査結果の概要】

都立霊園にどのようなことを期待するか聞いたところ、「長期にわたる安定した墓所の管理」(38.5%) が4割近くで最も高く、以下、「低廉な価格」(31.9%)、「様々なニーズに対応した多様なタイプの墓所の提供」(17.1%) などと続いている。

◎前回調査との比較 < 前回：令和4年6月実施「都立公園及び霊園について」 >

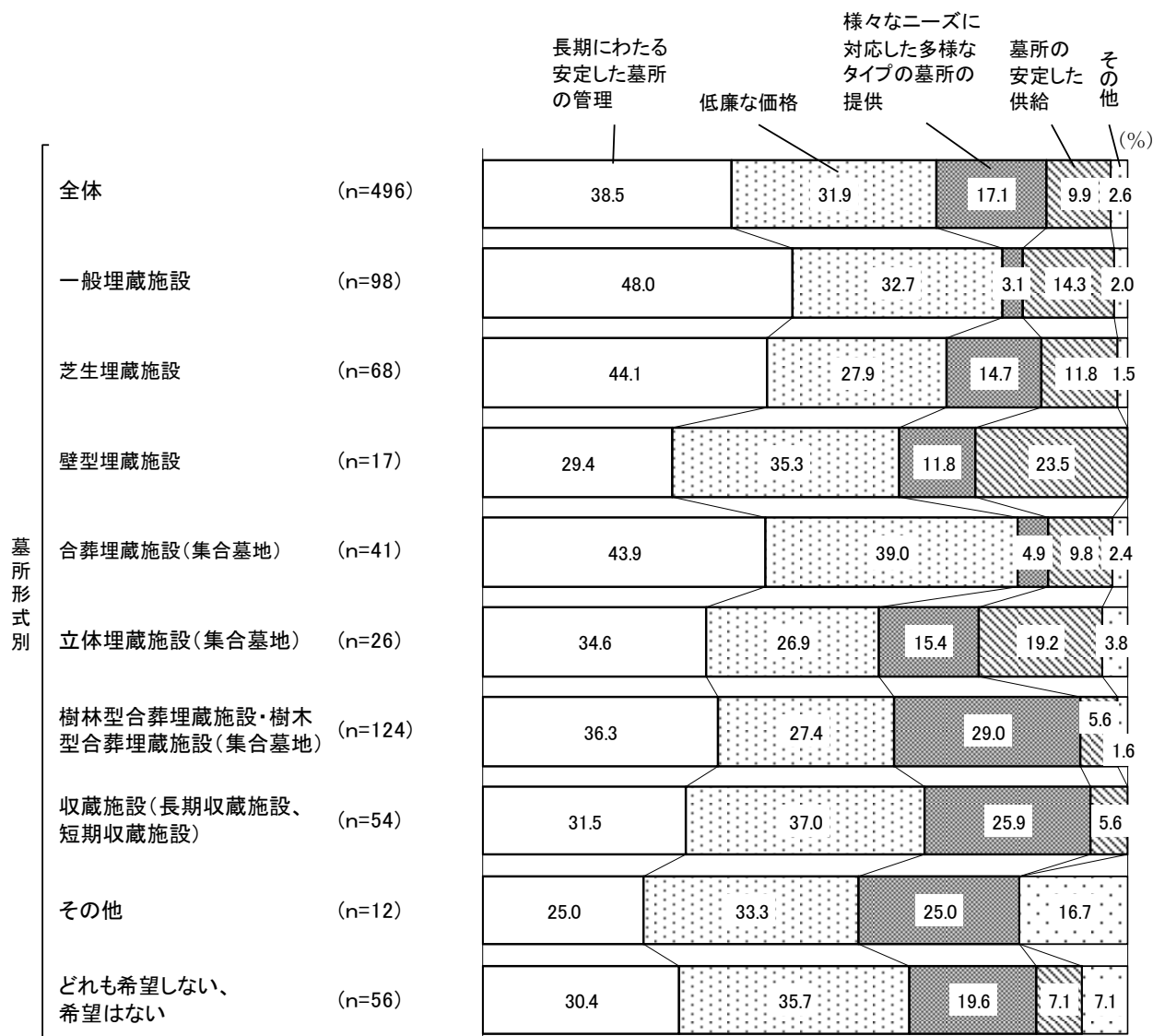


◎都立霊園に求める役割（属性別）



※未回答の選択肢については、0%表示を省略

◎都立霊園に求める役割（墓所形式別：Q6）



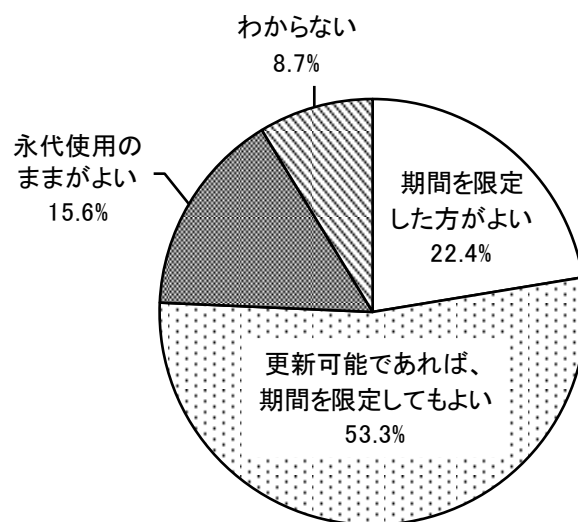
※未回答の選択肢については、0%表示を省略

永代使用権への意識

家族の形態が多様化する中、お墓に従来どおりの永代使用権※ではなく、あらかじめ使用期間やその間の料金を定め、期間満了後は合葬墓地へ共同埋葬するタイプの墓所が増えています。

※永代使用権：お墓の使用を子孫に受け継ぎ無期限に使用できる権利設定のことで、永代使用料及び年間使用料がかかります。

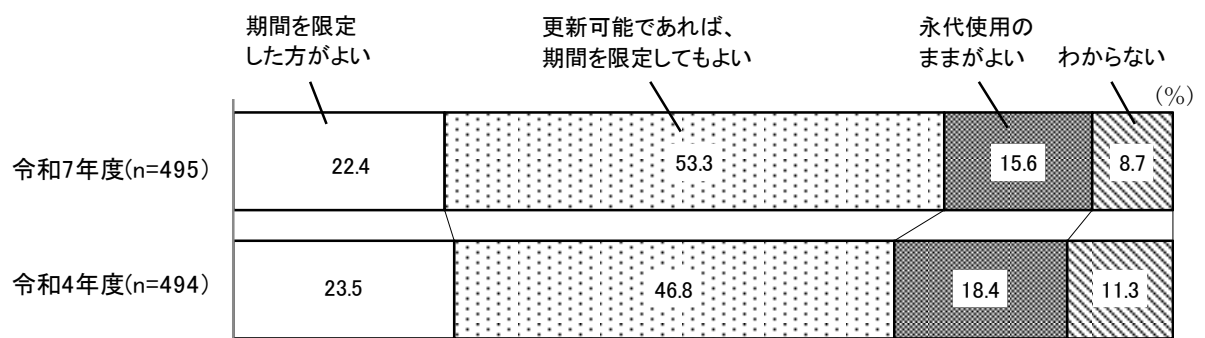
Q11 永代使用権ではなく、あらかじめ使用期間を定め、期間満了後に合葬墓地へ共同埋葬することについて、あなたはどのように考えますか。 (n=495)



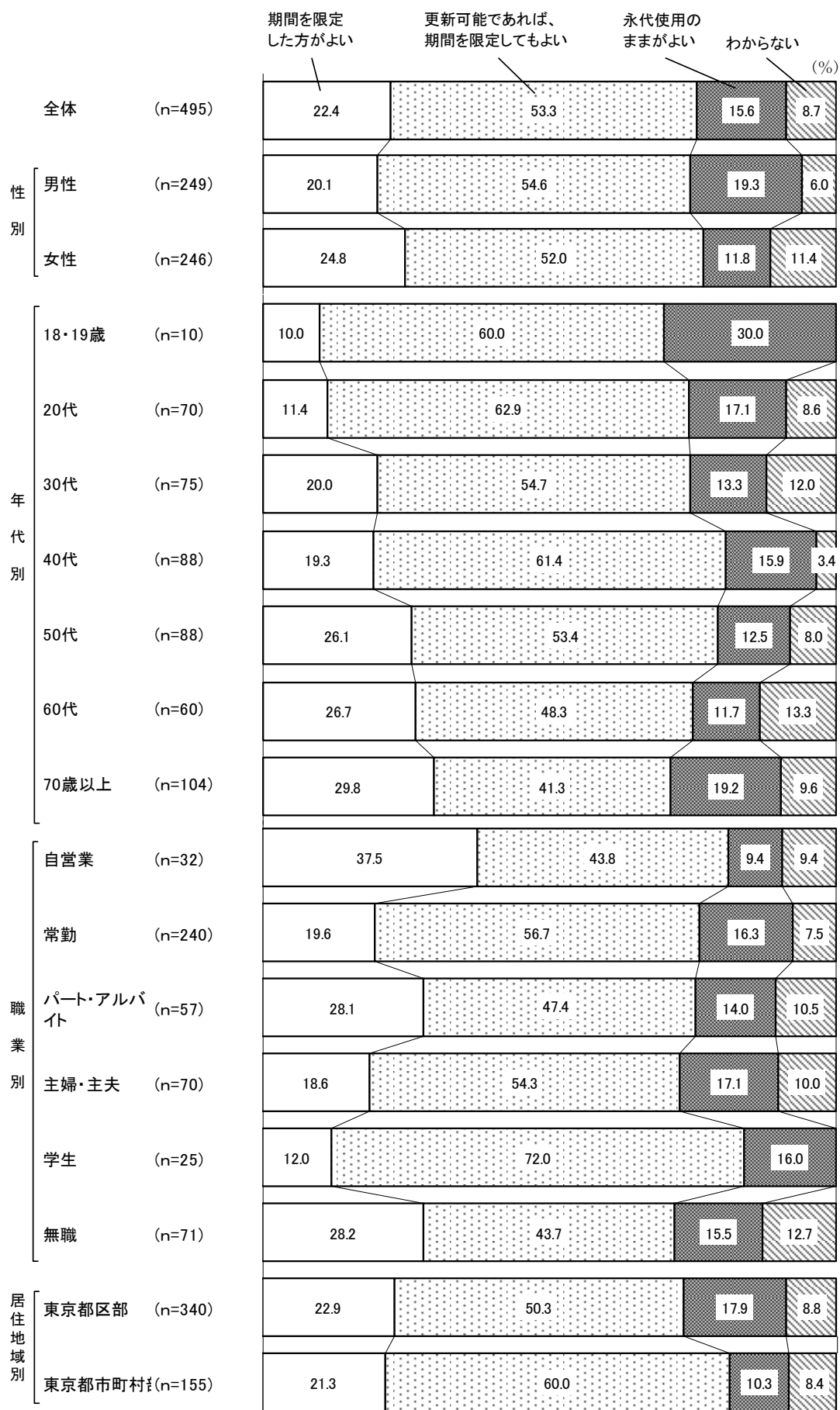
【調査結果の概要】

永代使用権ではなく、あらかじめ使用期間を定め、期間満了後に合葬墓地へ共同埋葬することについて聞いたところ、「更新可能であれば、期間を限定してもよい」(53.3%) が5割を超えて最も高く、以下、「期間を限定した方がよい」(22.4%)、「永代使用のままだがよい」(15.6%) などと続いている。

◎前回調査との比較 < 前回：令和4年6月実施「都立公園及び霊園について」 >

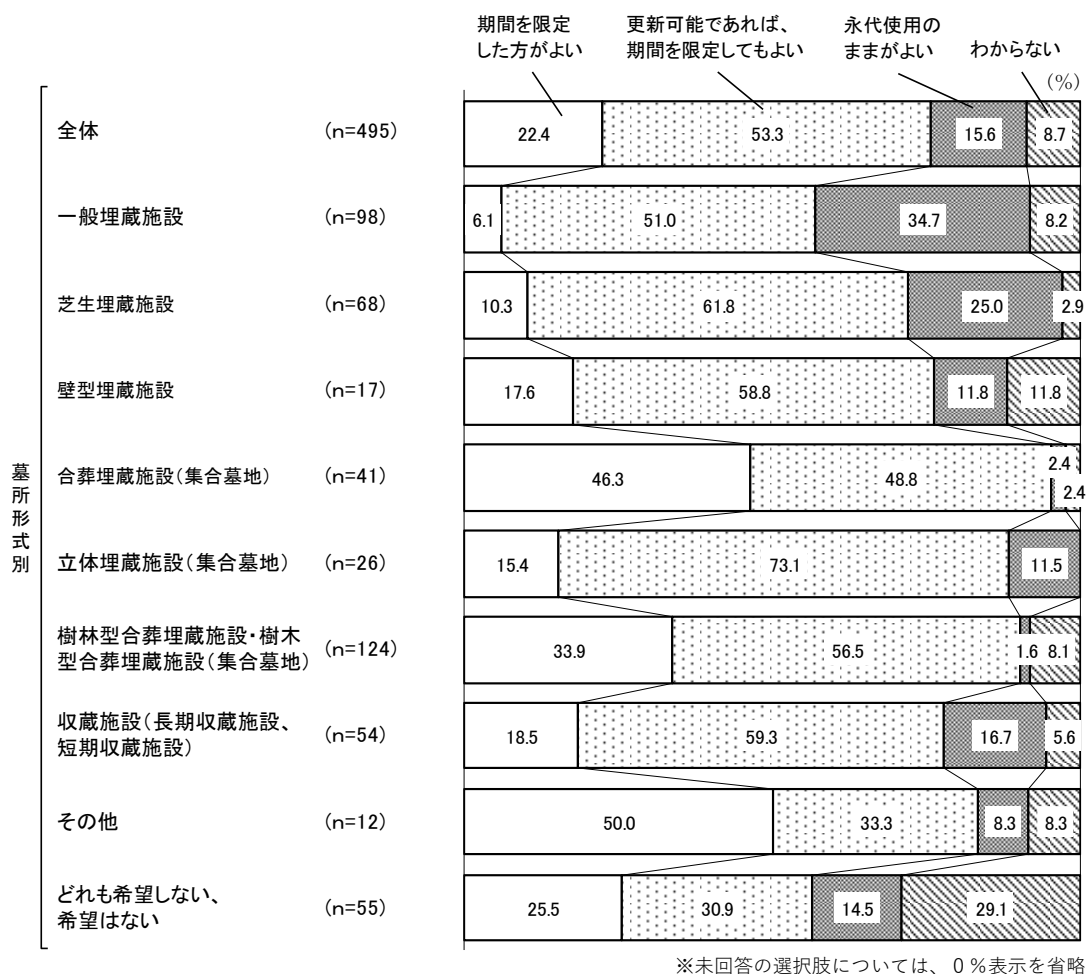


◎永代使用権への意識（属性別）

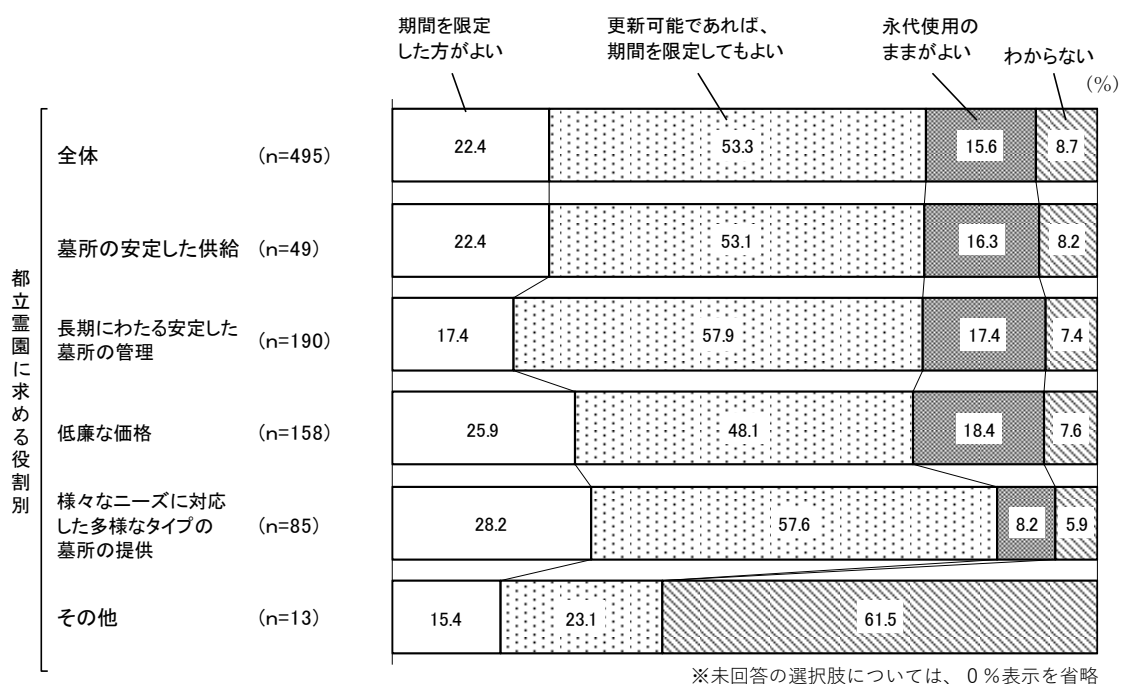


※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

◎永代使用权への意識（墓所形式別：Q 6）



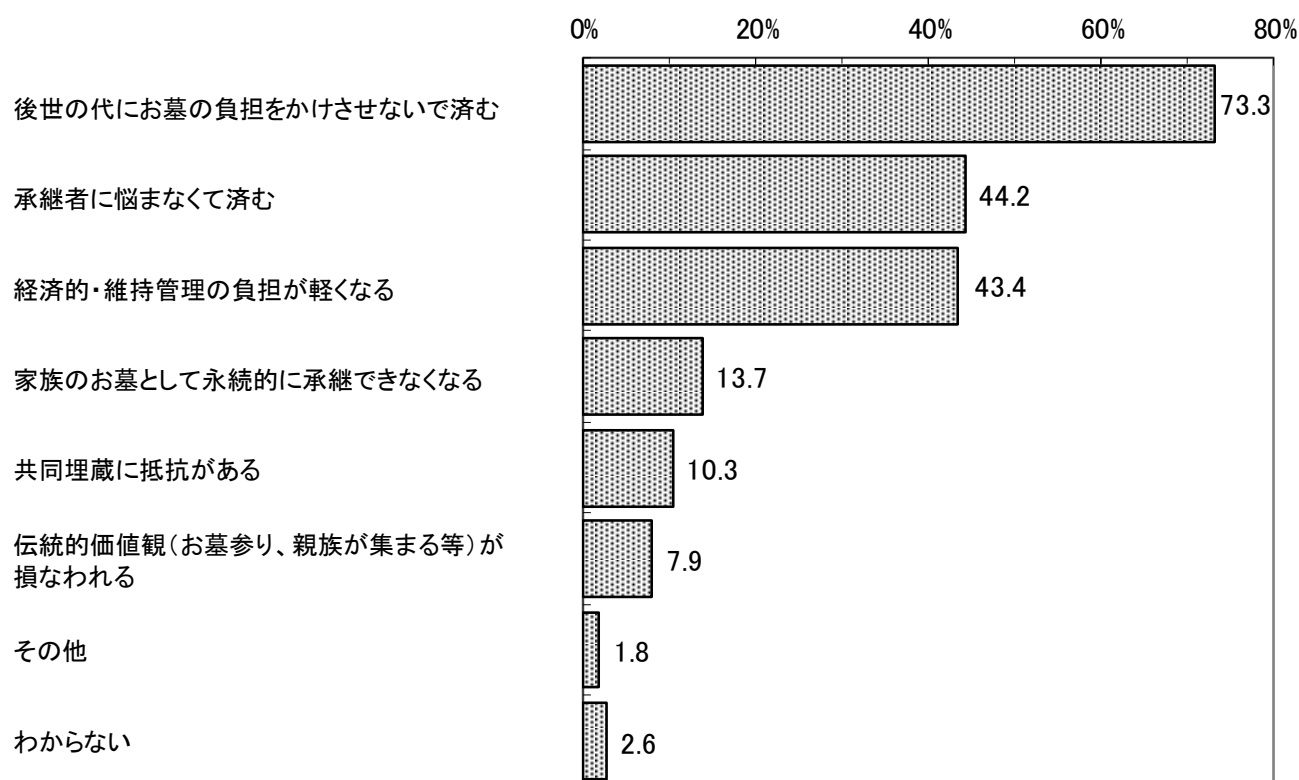
◎永代使用权への意識（都立霊園に求める役割別：Q 10）



使用期間を限定したお墓について

Q12 お墓の使用期間を限定する扱いについて、あなたはどのように思いますか。次の中から2つ選んでください。

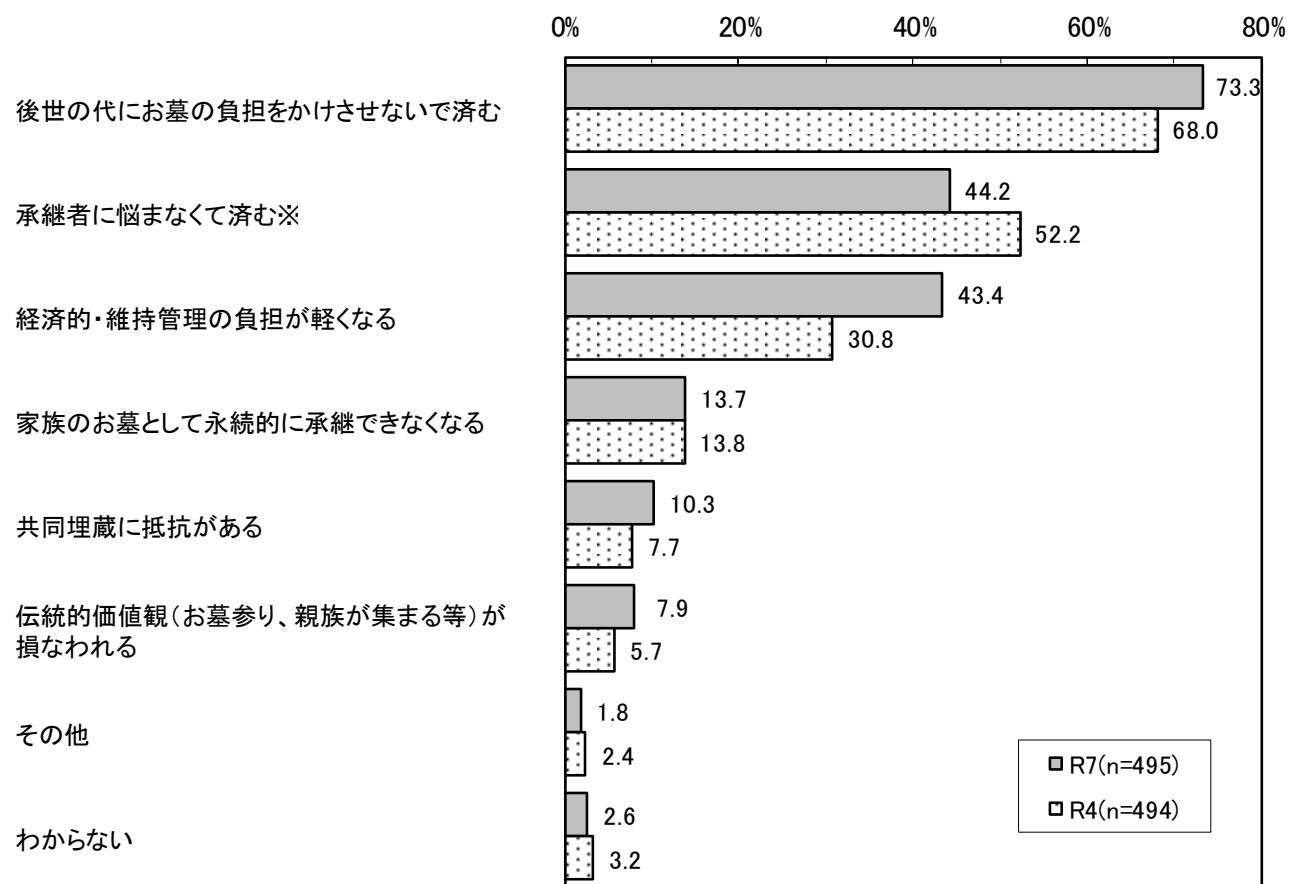
2MA (n=495)



【調査結果の概要】

お墓の使用期間を限定する扱いについて、どのように思うかを聞いたところ、「後世の代にお墓の負担をかけさせないで済む」(73.3%)が7割を超えて最も高く、以下、「承継者に悩まなくて済む」(44.2%)、「経済的・維持管理の負担が軽くなる」(43.4%)などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和4年6月実施「都立公園及び霊園について」>

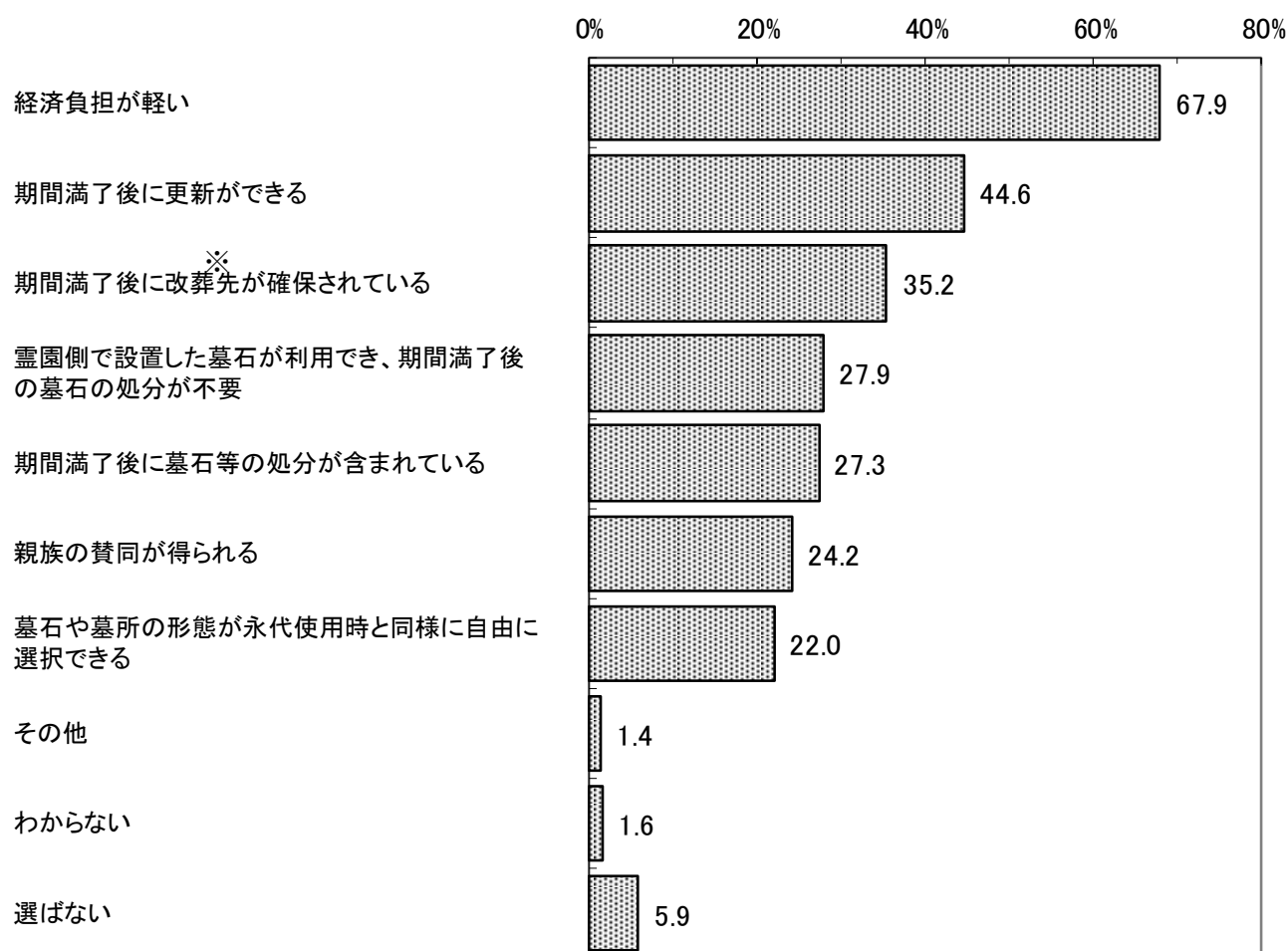


※ 前回は「お墓の承継者に悩まなくて済む」で集計

使用期間を限定したお墓を選ぶ条件

Q13 使用期間を限定したお墓を選ぶことが可能となった場合、あなたはどのような条件であれば、そのようなお墓を選択肢に含めますか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=495)

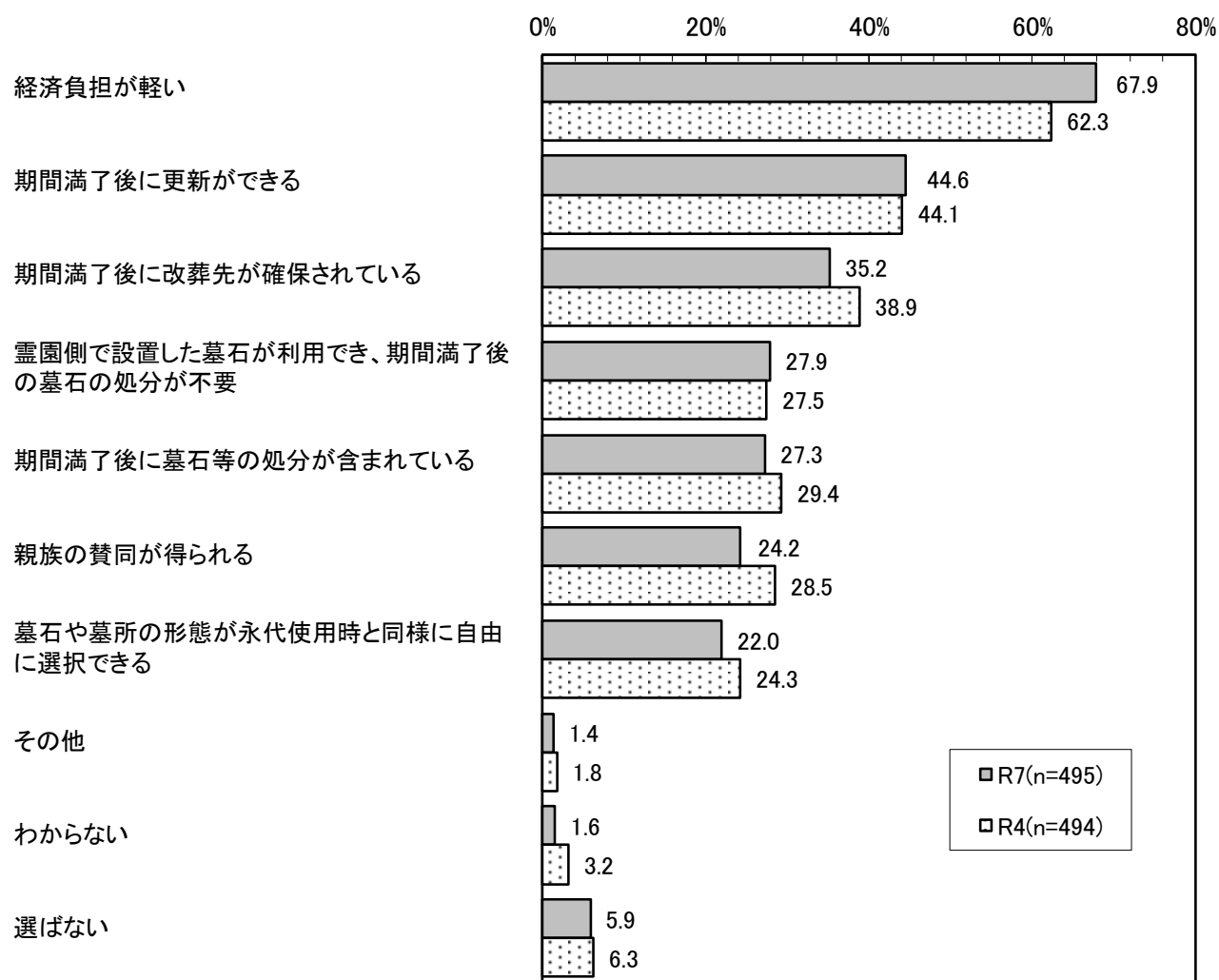


※改葬：埋葬した死体を他の墳墓に移し、又は埋蔵し、若しくは収蔵した焼骨を、他の墳墓又は納骨堂に移すこと

【調査結果の概要】

使用期間を限定したお墓を選ぶことが可能となった場合、どのような条件であれば選択肢に含めるか聞いたところ、「経済負担が軽い」(67.9%)が7割近くで最も高く、以下、「期間満了後に更新できる」(44.6%)、「期間満了後に改葬先が確保されている」(35.2%)などと続いている。

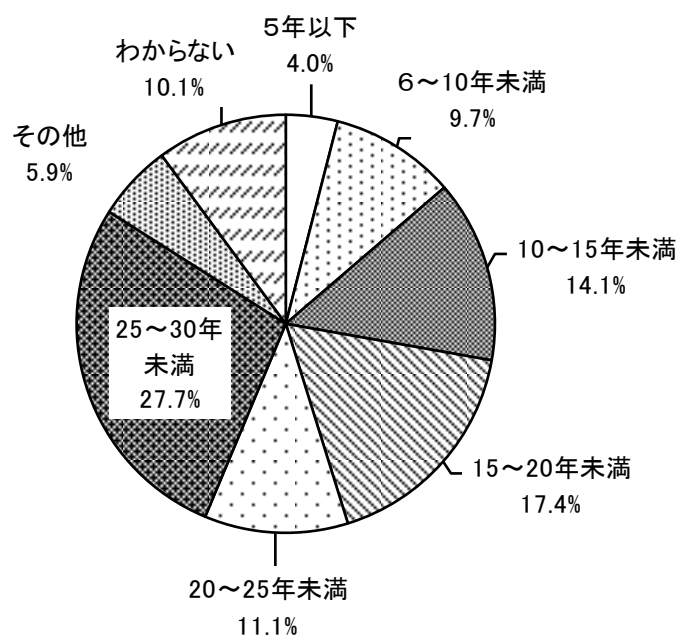
◎前回調査との比較 <前回：令和4年6月実施「都立公園及び霊園について」>



お墓の使用期間

Q14 お墓の使用期間を限定する場合、どのくらいの期間が適当であると考えますか。

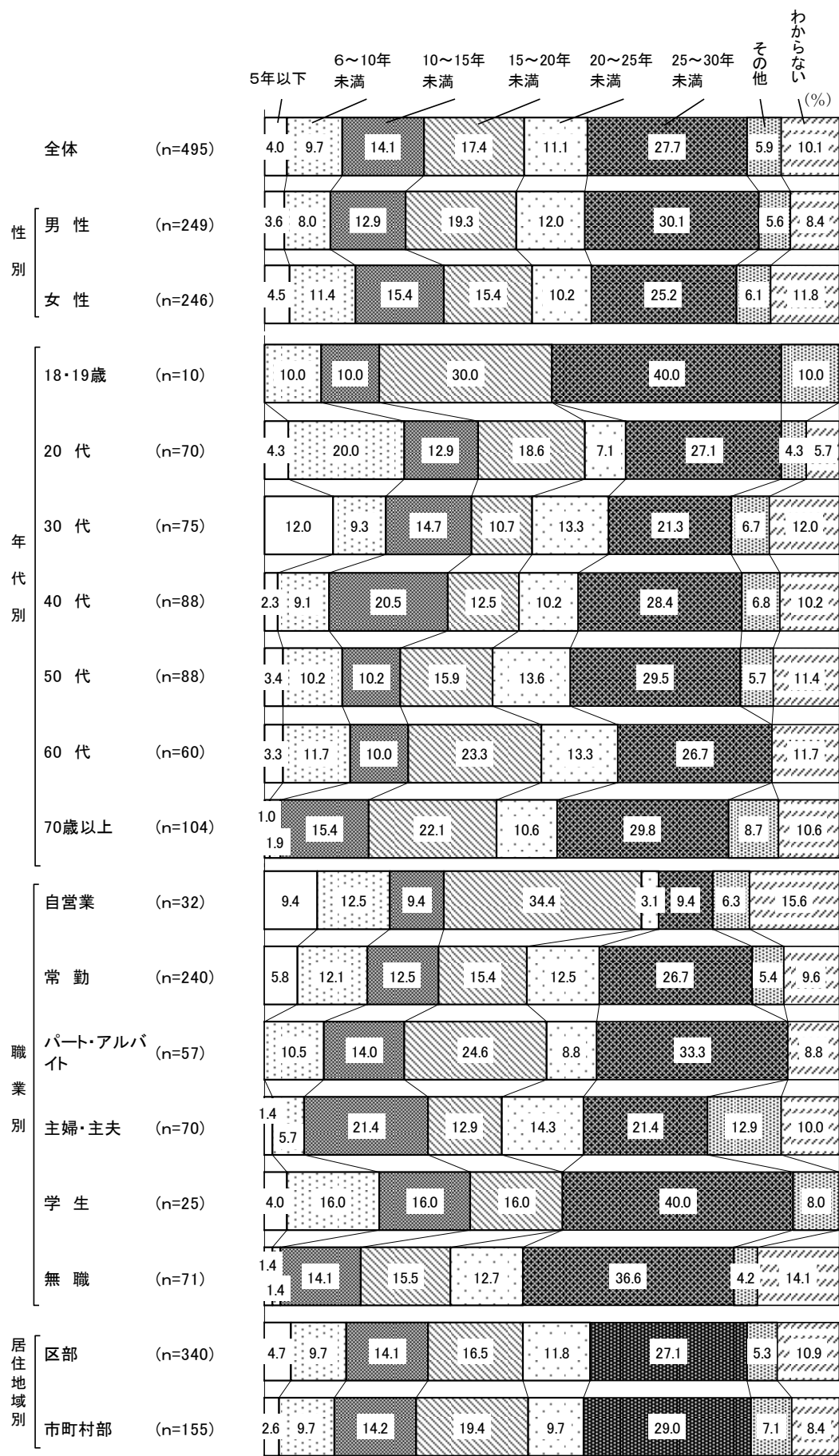
(n=495)



【調査結果の概要】

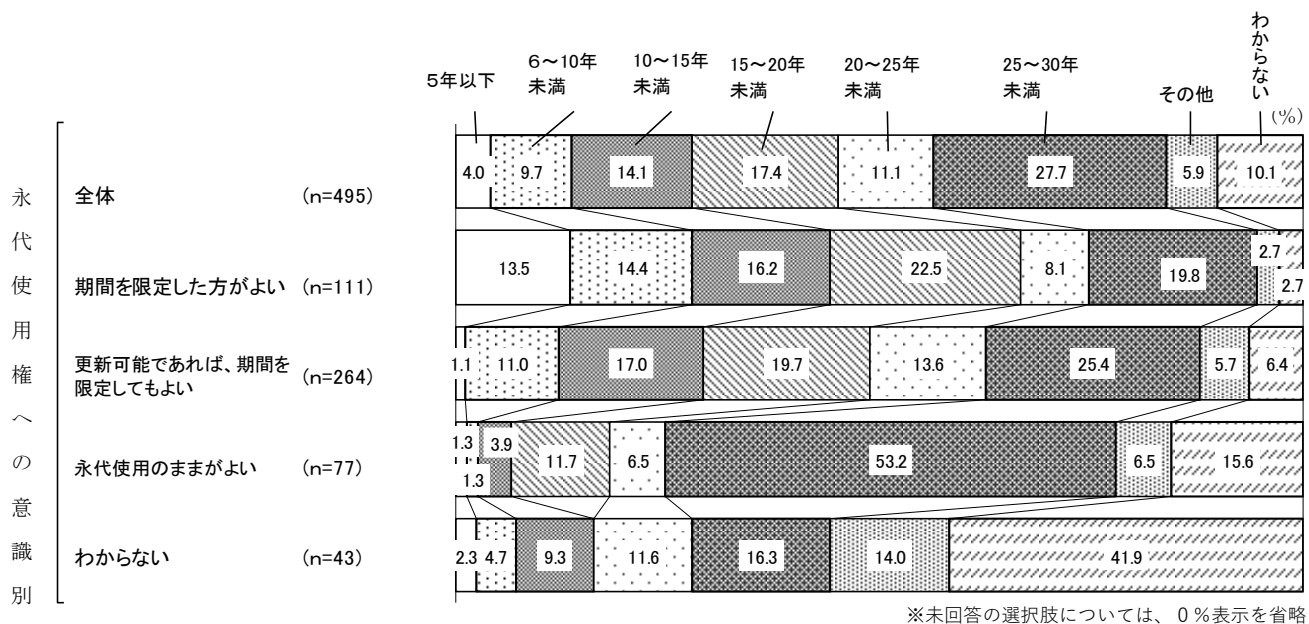
お墓の使用期間を限定する場合、どのくらいの期間が適当であるか聞いたところ、「25～30年未満」(27.7%) が3割近くで最も高く、以下、「15～20年未満」(17.4%)、「10～15年未満」(14.1%) などと続いている。

◎お墓の使用期間（属性別）



※未回答の選択肢については、0%表示を省略

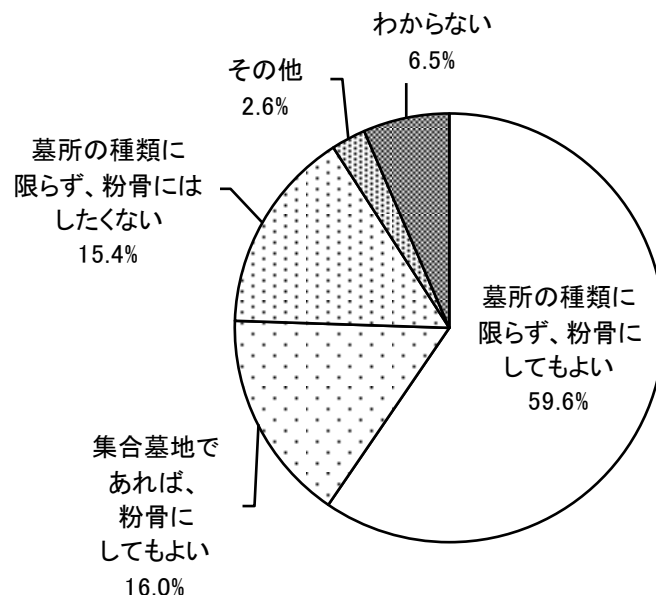
◎お墓の使用期間（永代使用权への意識別：Q 1 1）



粉骨にて埋蔵・収蔵すること

Q15 近年、粉骨（火葬された遺骨を粉状にしたもの）を埋蔵・収蔵する墓所がつくられています。粉骨にて埋蔵・収蔵することについて、どのように考えますか。

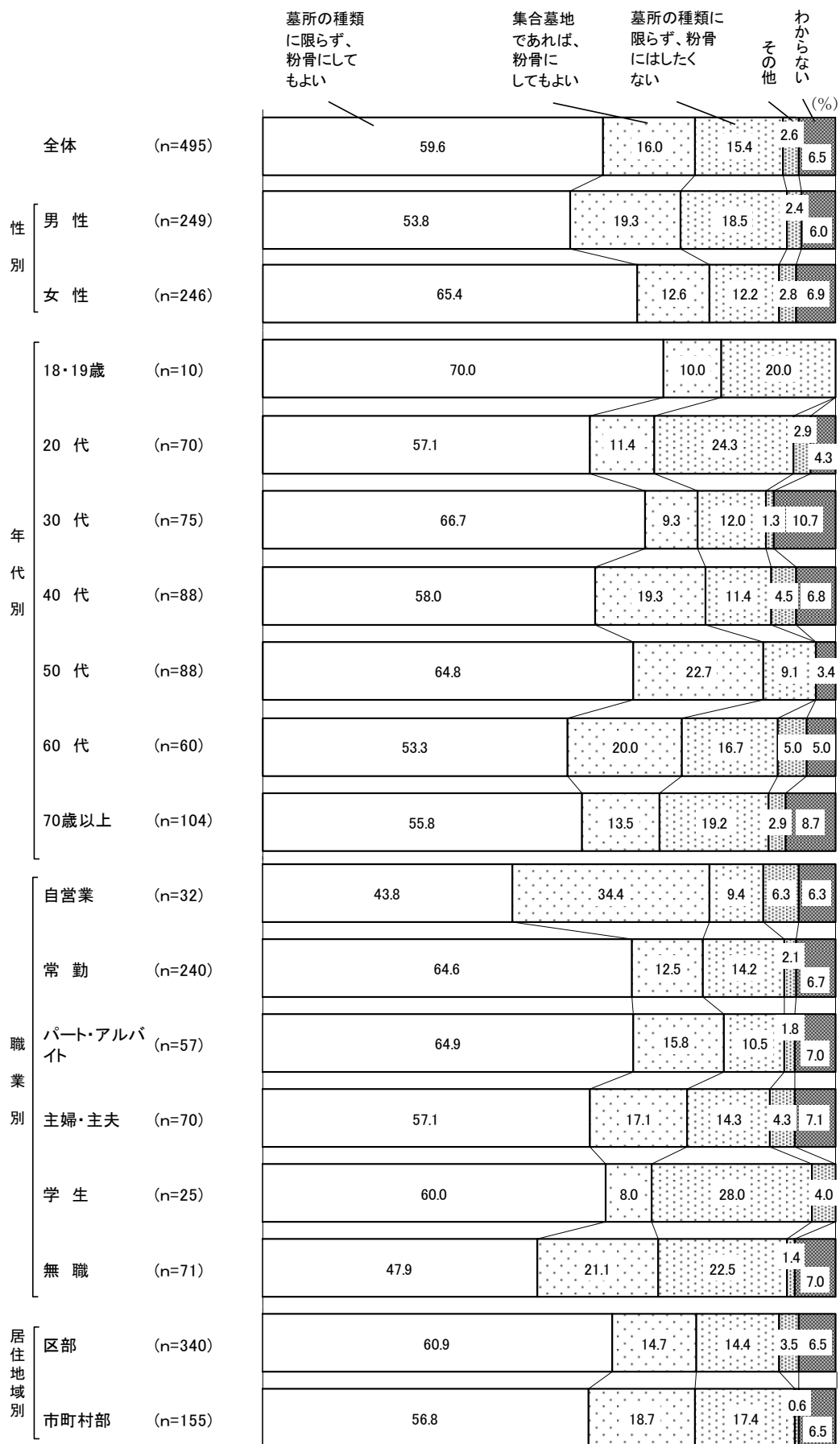
(n=495)



【調査結果の概要】

粉骨にて埋蔵・収蔵することについて聞いたところ、「墓所の種類に限らず、粉骨にしてもよい」(59.6%) が6割近くで最も高く、以下、「集合墓地であれば、粉骨にしてもよい」(16.0%)、「墓所の種類に限らず、粉骨にはしたくない」(15.4%)などと続いている。

◎粉骨にて埋蔵・収蔵すること（属性別）



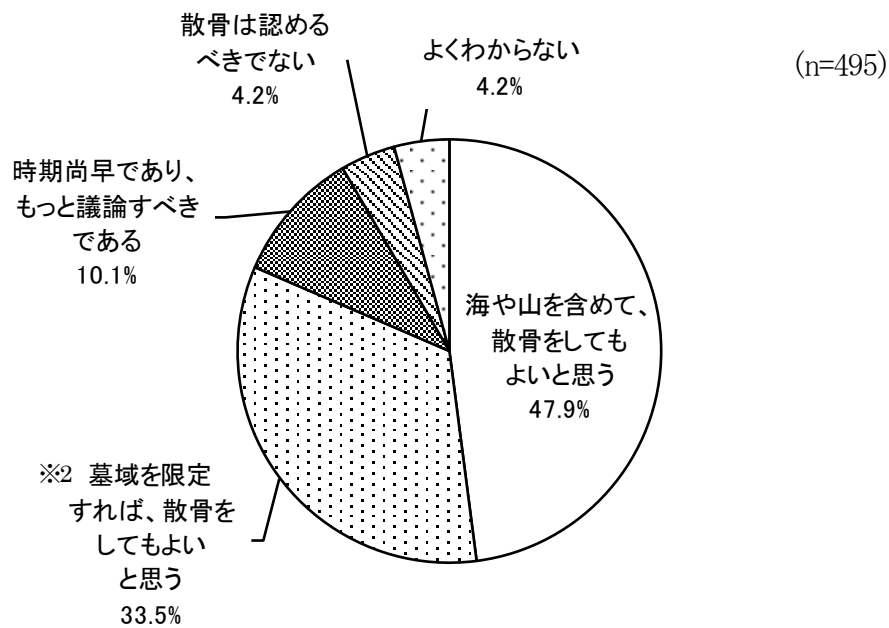
※未回答の選択肢については、0%表示を省略

散骨について

Q16 民間の墓地・霊園では、合葬式墓地や樹木・樹林墓地よりもさらに新しい形式として、遺骨を直接地面に散骨※1して土に還す方式の墓地（樹木や芝生の下の土壌に散骨する樹木葬や芝生葬）が整備されています。また、海や山などに散骨をする自然葬も行われています。

あなたはこのような散骨についてどのようにお考えですか。

※1：散骨：令和2年度厚生労働科学特別研究事業において「散骨に関するガイドライン」が公表されており、同ガイドラインでは、墓地、埋葬等に関する法律に基づき適法に火葬された後、その焼骨を粉状に碎き、同法が想定する埋蔵又は収蔵以外の方法で、陸地又は水面に散布し、又は投下する行為と定義している。

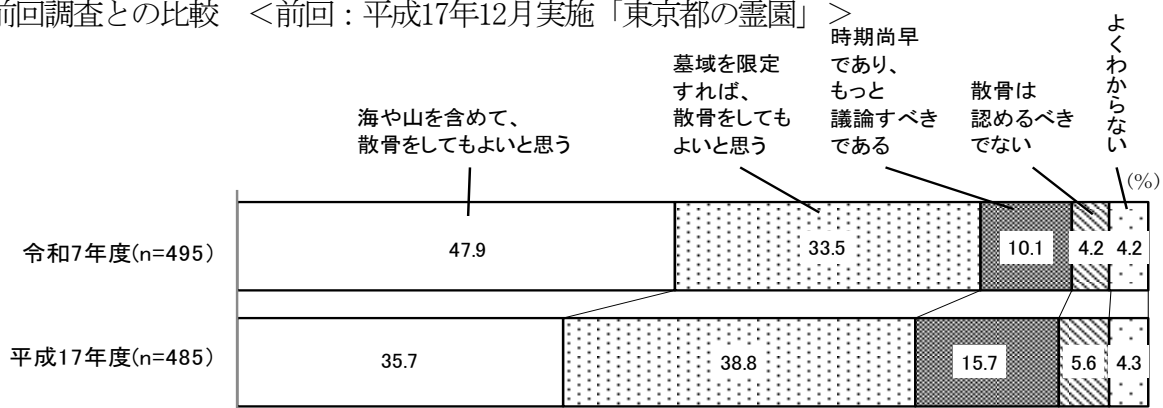


※2：墓域：墓所の範囲

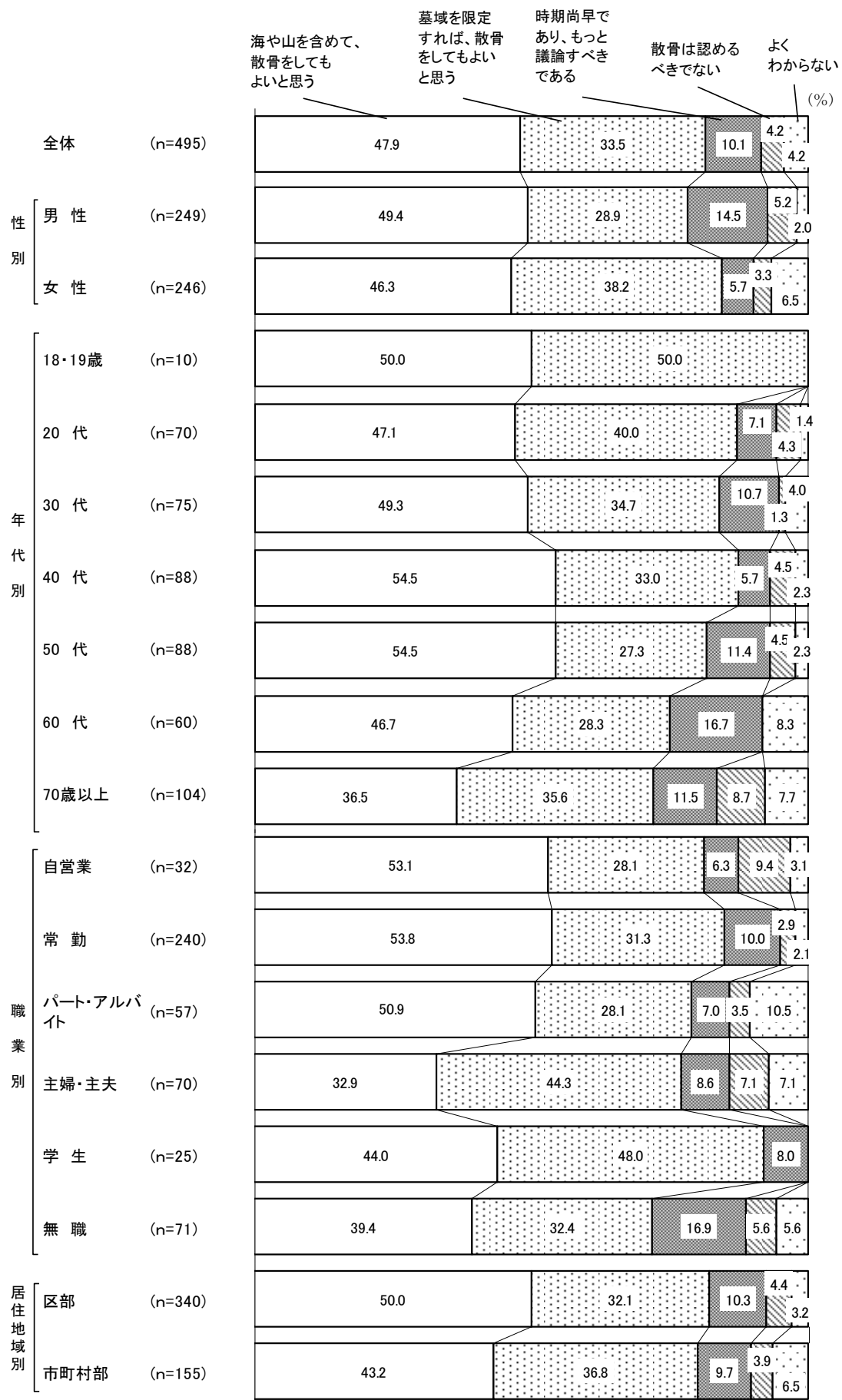
【調査結果の概要】

散骨についてどのように考えるか聞いたところ、「海や山を含めて、散骨をしてもよいと思う」（47.9%）が5割近くで最も高く、以下、「墓域を限定すれば、散骨をしてもよいと思う」（33.5%）、「時期尚早であり、もっと議論すべきである」（10.1%）などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：平成17年12月実施「東京都の霊園」>



◎散骨について（属性別）

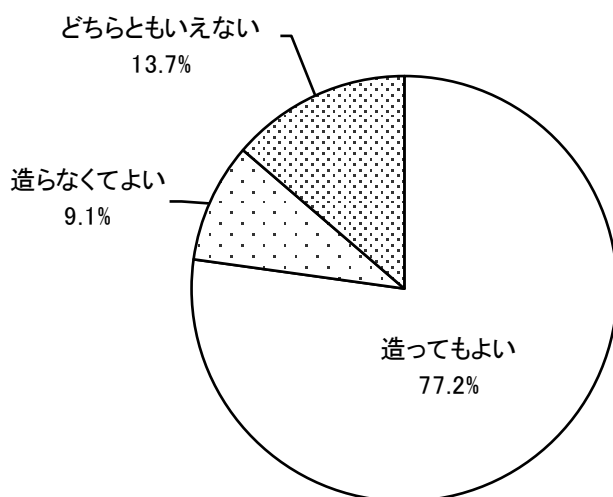


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

都立霊園における散骨できる墓地の整備

Q17 都立霊園に、これまでにない形式として散骨できる墓地を造ることについて、あなたはどのようにお考えですか。

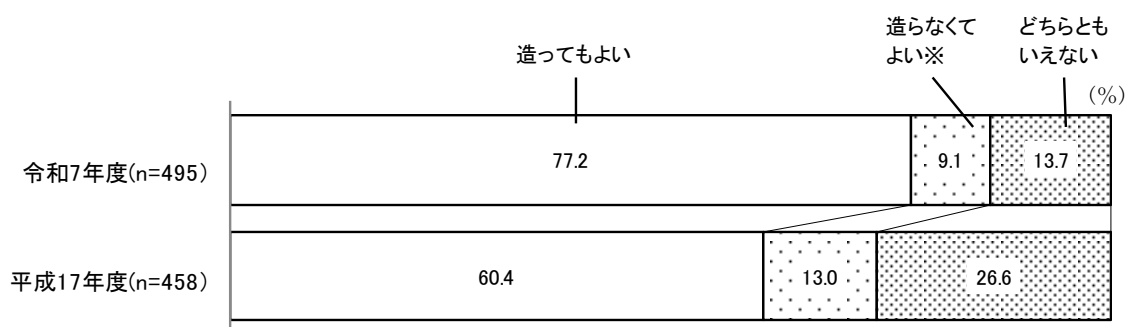
(n=495)



【調査結果の概要】

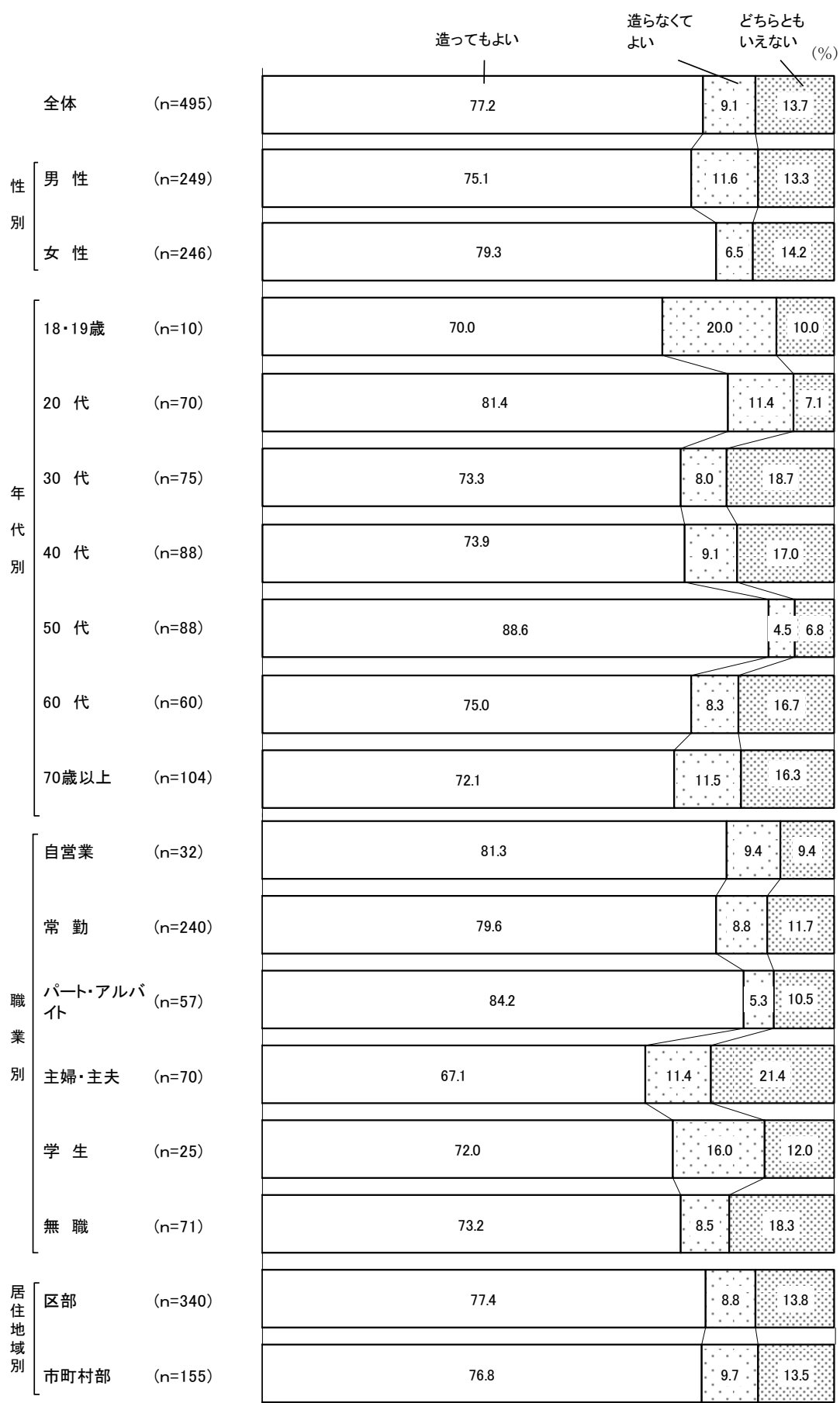
都立霊園に散骨できる墓地を造ることについてどのように考えるか聞いたところ、「造ってもよい」(77.2%)が8割近くで最も高く、以下、「どちらともいえない」(13.7%)、「造らなくてよい」(9.1%)と続いている。

◎前回調査との比較 <前回：平成17年12月実施「東京都の霊園」>

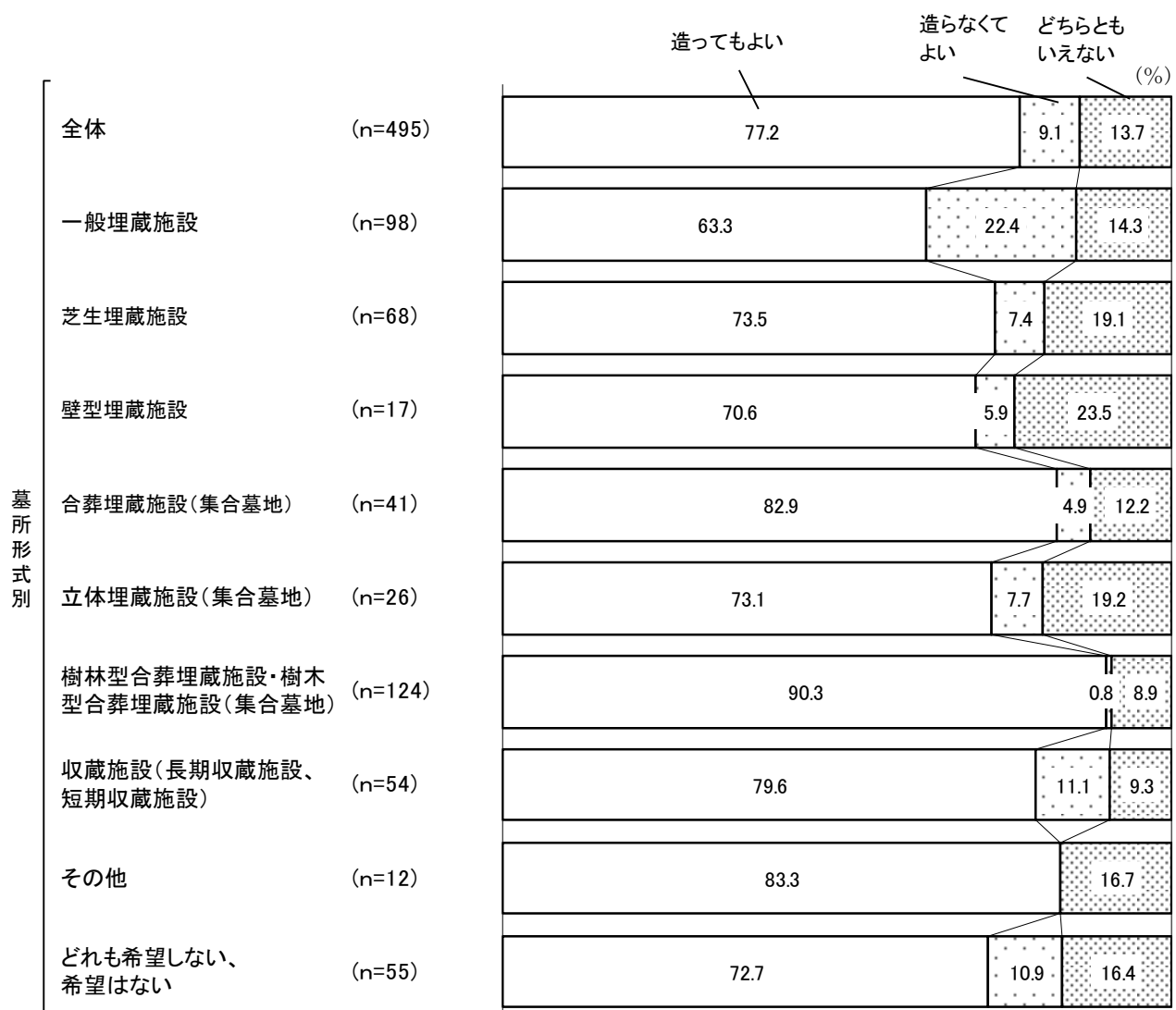


※平成17年度は「造る必要がない」で集計

◎都立霊園における散骨できる墓地の整備（属性別）



◎都立霊園における散骨できる墓地の整備（墓所形式別：Q6）

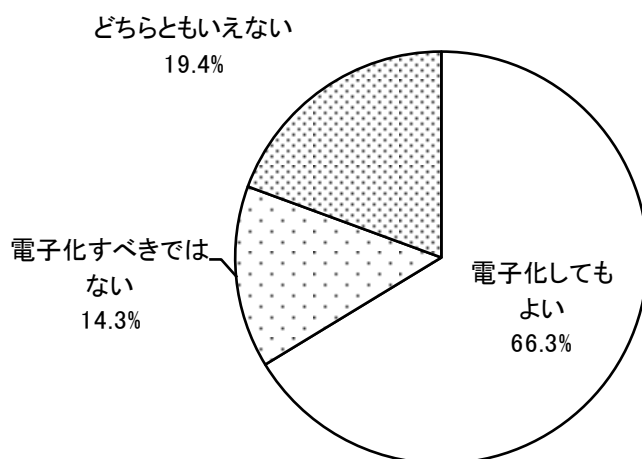


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

墓誌の電子化

Q18 現在、都立霊園の合葬埋蔵施設では、利用者の名前を刻む石製墓誌を設置しています。この墓誌について、近年、民間霊園では電子化（電子墓誌）されているケースが見受けられます。都立霊園で墓誌を電子化（電子墓誌）することについて、どのように思いますか。

(n=495)



石製墓誌（例）



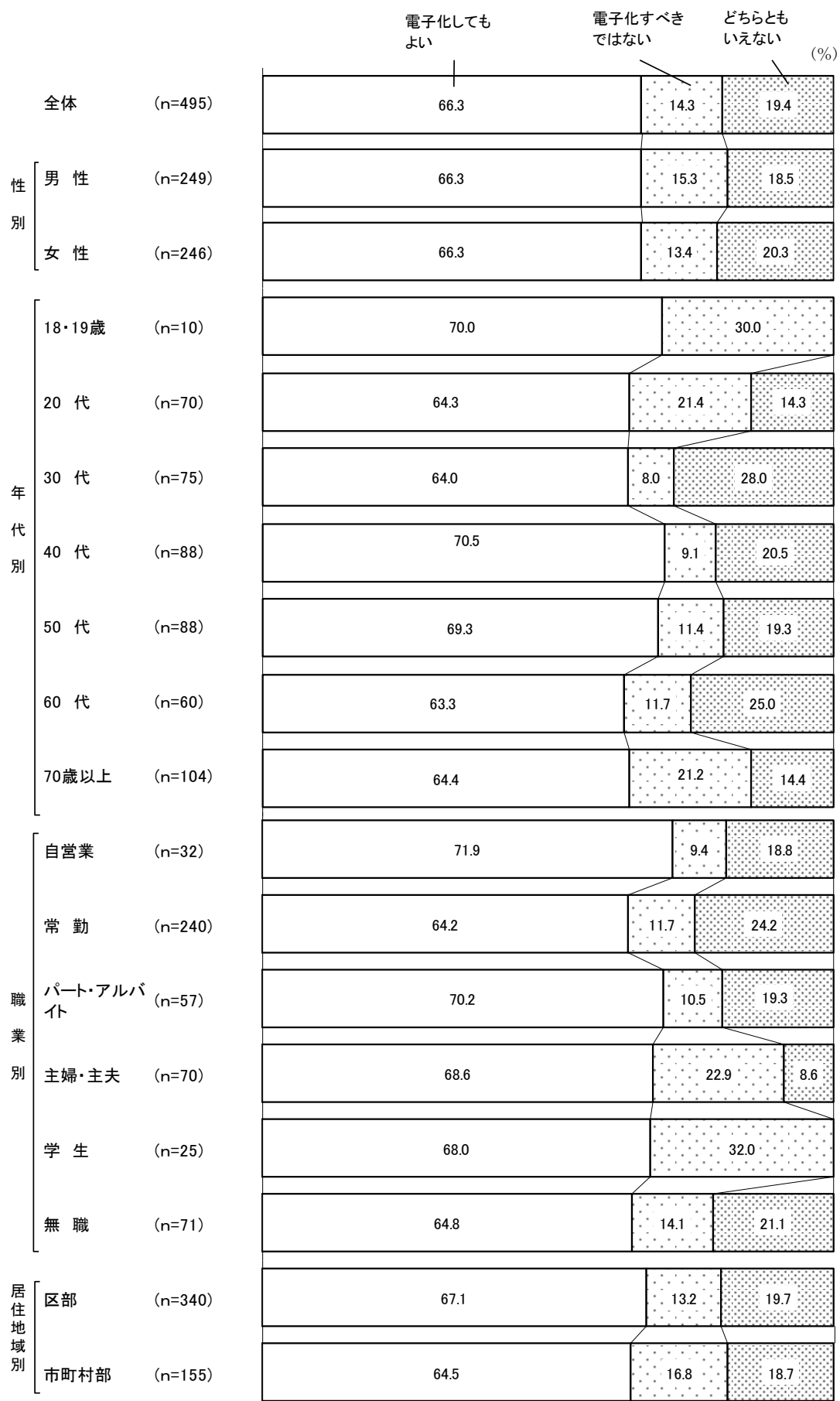
電子墓誌（例）



【調査結果の概要】

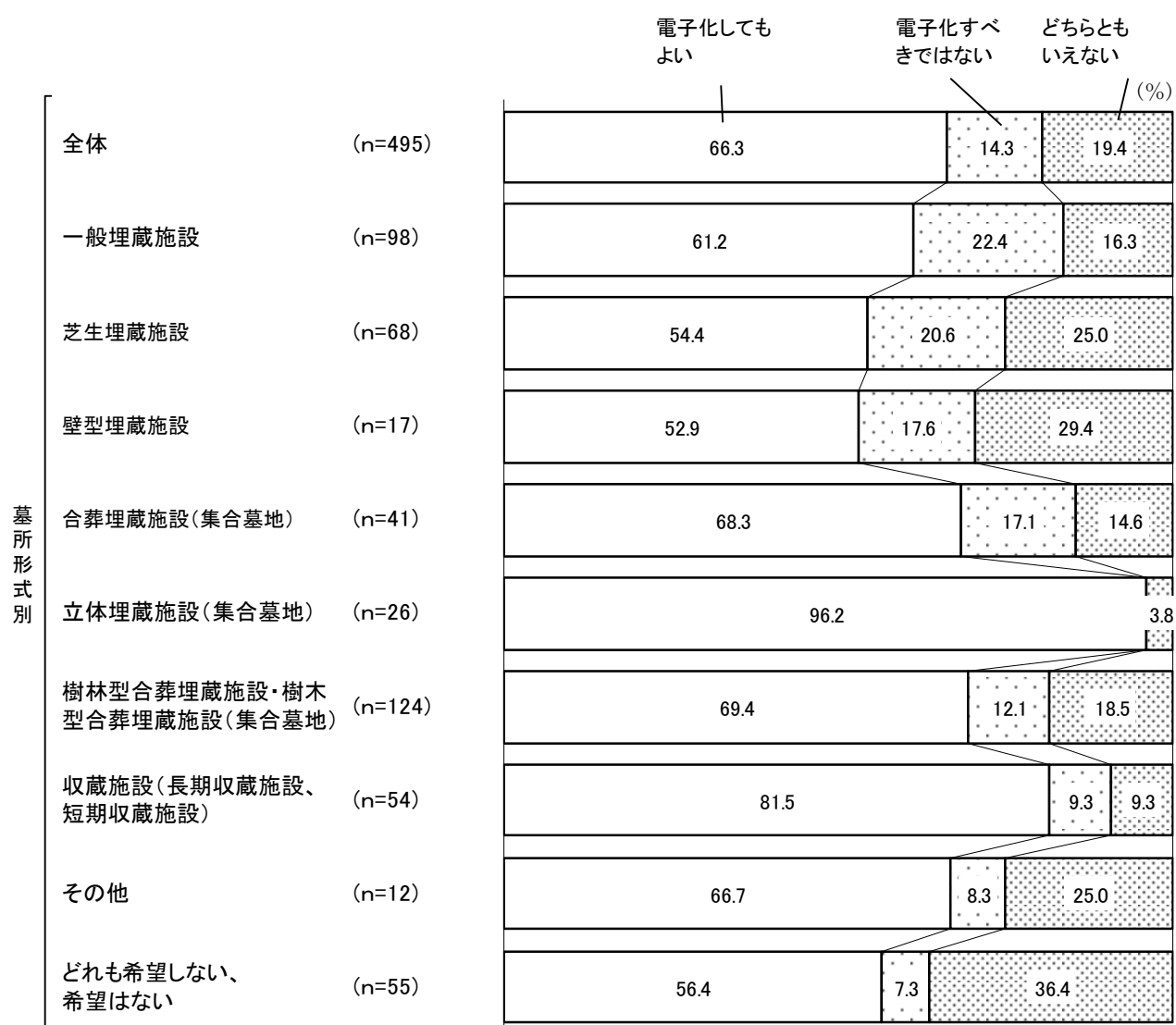
都立霊園で墓誌を電子化（電子墓誌）することについて聞いたところ、「電子化してもよい」（66.3%）が6割半ばで最も高く、以下、「どちらともいえない」（19.4%）、「電子化すべきではない」（14.3%）と続いている。

◎都立霊園で墓誌を電子化すること（属性別）



※未回答の選択肢については、0%表示を省略

◎都立霊園で墓誌を電子化すること（墓所形式別：Q6）

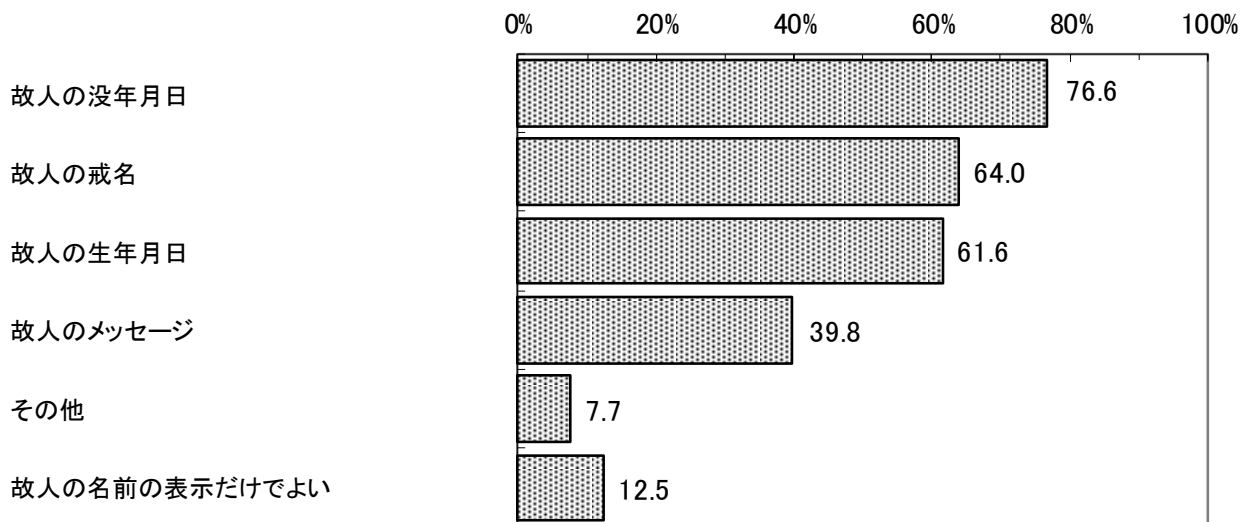


※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

電子墓誌に求めるもの

Q19 墓誌が電子化されたら、何が表示されると良いと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=495)



【調査結果の概要】

墓誌が電子化されたら、何が表示されると良いと思うか聞いたところ、「故人の没年月日」(76.6%)が7割半ばで最も高く、以下、「故人の戒名」(64.0%)、「故人の生年月日」(61.6%)などと続いている。

<その他の主な意見>

- ・故人の写真

お墓と都立霊園に関する意見（自由意見）

Q20 お墓と都立霊園について、意見をご自由にお書きください。（自由意見）

(n=467)

- | | |
|-------------------|------|
| (1) 都立霊園の運営、あり方全般 | 220件 |
| (2) お墓の形式や埋葬方法 | 162件 |
| (3) お墓の維持、承継 | 63件 |
| (4) 墓じまい、改葬 | 22件 |

（主なご意見）

(1) 都立霊園の運営、あり方全般 220件

- 世代的にまだ私にはピンとこないテーマではあったが、お墓について考えるよい機会となった。現在の我が家のお墓参り先がこの先の自分にどう関わるのかは、自分の生き方にも直結する。都立霊園が散骨や樹木葬などを実施するには、まだ議論が必要な点も多いと思うが、この先の少子高齢化を鑑みてもぜひ早急に実現させて欲しい。

（女性 10代 杉並区）

- お墓という長期間にわたって利用する施設のため、信頼できる組織が運営していることが重要だと思う。そのため、都立霊園は必要であると考えている。

（男性 20代 八王子市）

- お墓については、経済的な理由や形式へのこだわりなど人それぞれだと思いますが、何より選択肢が多いことが重要だと思います。個人ではなかなか親族の理解が得られないようなお墓の形式でも行政（都）の運営ということであれば信頼感も上がると思います。そういった理由から共同墓や自然散骨など前向きに進めて頂ければと思います。

（男性 40代 稲城市）

- 私にとってお墓はいつでもご先祖に会いに来られる精神的なよりどころではありますが、核家族化が定着し、少子高齢化がますます進む今後、従来のように代々のお墓を末裔まで守るのは子孫の負担を増やし、さらにスペースも逼迫し、一般的ではないと考えます。都立霊園には、利便性を生かし、樹木葬や散骨などスペースをとらず、精神的なよりどころとしての場を提供していただけたらと願います。都民にとって、そのような場を約束されていたら、安心して最期を迎えられる大きな要因になると思います。

（女性 40代 中央区）

- 都立霊園の存在を知らなかった。本モニターで始めて知って興味を持つことができた。

（女性 40代 大田区）

- 単身なので、経済的にも管理の面からも、自身のお墓を持つことは考えていません。そのため、都立霊園にそのような人向けの散骨場所を造っていただけたら、とてもありがたいし安心です。

（女性 40代 町田市）

○ 手続きが簡便で、必要なときに直ぐに手配出来るのがベストです。そのため、前もって情報提供がなされるのが良いです。費用は当然安いに越したことはないですが、安心できる管理が重要だと思います。民間との比較もできるような周知があるとよいと思います。個人的には、民間より都立霊園に将来を託せれば安心だと思うので、是非とも判りやすい広報を期待いたします。
(男性 50代 杉並区)

○ 現行の都立霊園には、樹木等を楽しめる公園的要素及び著名人を偲ぶ歴史文化的要素も備えています。基本的には、墓地に係る都民の意識の変化や民間墓地の動向も踏まえて霊園経営を考えていかなければならないと思います。但し、これまで培われてきた都立霊園の機能及び特性は継続するよう、また民間との適切な役割分担等を踏まえた運営を行うことが望ましいと考えます。
(男性 70歳以上 国立市)

○ お墓に対する考え方も変わってきています。継承する事が負担になる場合もあり樹木葬等
は良い制度だと思います。墓参は墓石が無くても思う気持ちがあればそれでよいでしょう。
個々のお墓は費用が高額となりかなりの負担を強いられます。お墓が供養になると思えませ
んし、故人を思い祈ることが大事だと思います。都立霊園が公園等の役目も果たし憩いの場とな
れば眠る故人達も安心だと思います。
(女性 70歳以上 武蔵村山市)

(2) お墓の形式や埋葬方法 162件

○ 墓誌の電子化は、もう少し議論するべきだと思います。電子化が進んでいる現在では、なん
でも電子化にしようとする動きが出ていますが、伝統や雰囲気を守っていくことも大切だと思
います。
(女性 10代 日野市)

○ 現代のニーズに合わせたお墓の進化（電子化など）も必要だとは思いますが、やはり昔な
がらのお墓の形も守っていくべきだと思っています。
(女性 20代 中央区)

○ 伝統を守りながらデジタルなど最新技術を用いてより良いものとしてほしい。
(男性 20代 大田区)

○ 少子化の影響で、管理が行き届かないお墓が増えてきているかと思いますので、一定期間後
に共同で埋葬したり、散骨したり、次世代に負担を残さないような形式を選びやすいとよいか
と思います。
(男性 40代 西東京市)

○ 埋葬方法を複数から選ぶことができるのはいいと思う。散骨は、墓地内でも、場所を限定し
て欲しい。空、海、山などどこでもできるのは反対。
(女性 40代 西多摩郡)

○ 最近では死生観が変わってきており、樹木葬や散骨なども当たり前となっているため、ある
程度運営も柔軟であってもよいと考えます。
(男性 50代 杉並区)

- 東京は高齢者の単身世帯が増加しており、もしもの時のお墓が準備出来てない方も沢山いると思います。また、お墓の後継者が絶えてしまうケースも多々あると思います。終活の一環として、元気なうちにお墓のことも考えておかなければと考えさせられました。

(女性 60代 新宿区)

(3) お墓の維持、承継 63件

- 少子高齢化に伴い、従来のようなお墓の形を維持することは難しくなっていると感じる。永代墓地や家のお墓にこだわる若者も減っているのではないかと思いますので、ニーズに合った多様な形のお墓を選べるようになってほしい。

(女性 20代 練馬区)

- 先祖代々のお墓がお寺にあるが、場所が遠いので管理などのために年何回も行くのが大変ですし、子供に引き継いで貰うのも大変なので、民間・都立含め管理が楽な施設ができるとありがたいです。

(男性 30代 杉並区)

- 親のお墓は、自分たちが元気なうちはまめにお参りして守っていきたいと思っていますが、自分たちのお墓を子供達に守ってほしいというのは負担になるかもしれないし、難しいのかもしれませんが。これからの社会ではお墓にも電子化、簡便化が必要になってくると思われるし、若い世代にはそういった変化も受け入れられやすくなるのではないかと思います。

(女性 40代 北区)

- 場所、お墓の形式にはあまりこだわらないため、後世の負担にならない形が良いと考えています。

(男性 50代 青梅市)

- 祭祀の承継問題が増えていますので、合祀についてのメリット・デメリットをわかりやすく解説もしくはフローチャートみたいなものがあれば選択しやすいかと思います。

(女性 50代 台東区)

- 色々な考え方がありますが、今後墓の継承は難しいので埋葬の仕方は悩みます。都立霊園も子供が行きやすければ利用したいです。

(女性 60代 町田市)

- 少子高齢化で、お墓の承継は難しい問題であり先祖を大切に思う立場からは、新しい形式も考えなければとは思っています。しかし今一步踏み出せずに悩んでいる現在です。合同葬でにぎやかな世界に送るのも一つの手かとも思います。

(男性 70歳以上 西東京市)

(4) 墓じまい、改葬 22件

- 少子高齢化の進展により子孫が墓地を管理維持することが難しい家庭が増えている。墓じまいも含めて維持負担が軽減されるようにしていくべきだ。

(男性 20代 千代田区)

- 都心の人口増加に伴い、お墓の場所が足りるかは心配である。地方出身のため、お墓を都内に移すか検討している。

(男性 30代 荒川区)

- 墓じまいが話題になっていますが、少子化で維持するのは本当に難しくなって来ているので、致し方ないと思います。ただ、ご先祖様に感謝する気持ちは大切なので、何かより所となるような目印なり場所なりは必要だと思います。

(女性 50代 福生市)

- 墓じまいのための情報が沢山入手できると良いと思います。

(女性 60代 豊島区)